NOKIA 3220

日本語取扱説明書
兼
保証書

Japanese User's Guide and Limited Warranty

重要！

- 本製品の保証書が巻末に添付されています。かならず内容をご承認の上、本製品をご利用ください。
- 尚、英語版取扱説明書に添付の保証書は無効となります。
- 本書は NOKIA3220 英語版取扱説明書の翻訳版となります。

Important!

- Limited Warranty is attached on very end of this user's guide. Please agree with the statement before using this products.
- Limited Warranty which is attached on English user's guide is not valid.

Nokia の携帯電話へようこそ

内蔵の VGA カメラとビデオレコーダー

- 写真を撮ったり、オーディオビデオを記録します。

開始ボタン

- 電話をかけたり、かかってきた電話に応答します。
- ブラウザでページを閲覧中に押すと、ハイライトされているアイテムを選択できます。
- 待受モードの場合に押すと、前回かけた電話番号が表示されます。

ダイヤルボタン

- 番号や文字を入力します。
- 1 を長く押すと、ボイスメールボックスに電話がかかります。
- 0 を長く押すと、モバイルサービスに接続(ブラウザでページを閲覧)できます。

機能に応じて用途が変化します。

電源ボタン

- 長く押して電源を入れたり、切ったりします。
- 通話中や待受モードで短く押すと、プロファイルリストが表示されます。

ソフトキー

- 文字で表示された機能を実行します。
- 通話中に押すと、ハンズフリー用内蔵スピーカーが使用できます。

終了ボタン

- 通話を終了したり、応答を拒否したりします。また、使用中の機能を終了して、待受モードに戻る場合に押します。

4 方向スクロール

- 名前や電話番号、メニュー、設定をスクロールして選択するのに使用します。
- 待受モードで押すと、以下の機能をすぐに使用できます。

上方向 – カメラとビデオレコーダー

下方向 – 電話帳

真ん中 – メニュー

左方向 – 文字メッセージの入力

右方向 – カレンダー

Xpress-on™ グリップ

適合宣言
NOKIA CORPORATION は、その責任において、本製品「RH-37」が Council Directive 1999/5/EC の規定に準拠していることをここに宣言します。
適合宣言書につきましては、こちらをご参照ください。
http://www.nokia.com/phones/declaration_of_conformity/

CE434

交差した線が引いてある車輪付きのごみ箱マークは、欧州連合では製品の寿命が尽きたときに分別回収されることを意味しています。これは本製品だけでなく、このマークが付いているどのアクセサリ製品にも適用されます。これらの製品を自治体の無分別廃棄物として廃棄しないでください。

Nokia、Nokia Connecting People、Pop-Port、Visual Radio は、Nokia Corporation の登録商標または商標です。本書に記載されている製品名、社名は、各所有者の商標、または商標名です。
Nokia tune は Nokia Corporation の商標です。

Java POWERED

Java™ およびすべての Java ベースの商標は、Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。
Stac ®, LZS ®, © 1996, Stac, Inc., © 1994-1996 Microsoft Corporation. 米国特許 No 4701745、5016009、5126739、5146221、および 5414425 を取得しており、また、その他の特許を出願中です。
Hi/fn ®, LZS ®, © 1988-98, Hi/fn. 米国特許 No 4701745、5016009、5126739、5146221、および 5414425 を取得しており、また、その他の特許を出願中です。
本機ソフトウェアの一部の著作権は © Copyright ANT Ltd. が所有しています。（1998 年）。
本機は米国特許 No 5818437 を取得しており、また、その他の特許を出願中です。T9 テキスト入力ソフトウェアの著作権 © は Tegic Communications, Inc. が所有しています。（1997-2006 年）

本製品は、次の目的に関して、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づくライセンス許可を得ています。(i) 消費者が個人的および非営利的活動において MPEG-4 Visual Standard に準拠して情報をエンコードする場合、それに関連する個人的および非営利的使用。(ii) ライセンス許可を得たプロバイダによって提供された MPEG-4 ビデオに関連する使用。前述以外の使用のためには、黙示的なものも含め、いかなるライセンスも許諾されていません。宣伝、内部的、商業的な使用に関係する追加情報は、MPEG LA. LLC から入手できます。
<http://www.mpegla.com> を参照してください。

Nokia は製品の改良を継続的に行っています。そのため、本書に記載された全ての製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。

Nokia は、状況のいかんを問わず、データまたは収益の喪失、またはいかなる特別損害、付随損害、派生損害、間接損害に対しても一切責任を負いません。
本書は、現状有姿のまま提供されるものです。準拠法により要求される場合を除き、Nokia は、本書の正確性、信用性に関連するいかなる明示的または黙示的保証も行いません。この保証には、商品性、および特定目的に対する適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されません。Nokia は、事前の通知なく本書を変更する権利または取り消す権利を有します。
使用できる製品は地域により異なります。お近くの Nokia 代理店にお問い合わせください。
本機には、米国および他の国の輸出関連法令の適用対象となる商品、技術、またはソフトウェアが含まれています。法令に違反する輸出は禁じられています。

FCC / INDUSTRY CANADA の通告 FCC / INDUSTRY CANADA NOTICE
本機は、TV またはラジオに電波障害を引き起こす可能性があります（例えば電話機を受信機器の近くで使用した場合）。FCC または Industry Canada は、そのような電波障害が除去されない場合は、電話機の使用の中止を要求することができます。必要な場合は、地域のサービス機関にお問い合わせください。本機は、FCC 規則の第１５条に適合しています。本機が有害な電波障害を引き起こさないという条件に従って本機を操作してください。

第 1 版（英 : 4V9232264）

目次

安全上のご注意

次のガイドラインをお読みください。ここに記載されている注意事項をお守りいただくことで、危険な状態が生じる可能性や違法行為を未然に防ぐことができます。また、本書では更に詳しい説明も記載しています。

安全を確認して電源をお入れください

携帯電話の使用が禁止されている場合や、電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。

交通安全を最優先に

ご使用になる地域のすべての法令に従ってください。運転中は、携帯電話を手に持たないでください。運転中は安全第一を心がけてください。

電波干渉

携帯電話は電波干渉に敏感で、電波干渉を受けると動作に影響が及ぶ場合があります。

病院では電源をお切りください

規則に従い、医療機器の近くでは電話機の電源をお切りください。

航空機内では電源を切ってください

規則に従い、航空機内では電話機の電源をお切りください。無線機器の使用は、機内で何らかの電波干渉を引き起こすことがあります。

給油時には電源をお切りください

ガソリンスタンドなど、燃料や化学薬品の近くでは携帯電話を使用しないでください。

爆発現場付近では携帯電話を使用しないでください

規則に従い、爆発処理が行われている現場では携帯電話を使用しないでください。

正しくご使用ください

製品に付属の取扱説明書に従い、電話機を通常の位置で使用し、不必要にアンテナ部分に触れないでください。

正規サービス

資格のあるサービススタッフ以外は、装置の取り付けや修理を行わないでください。

アクセサリと電池
指定のアクセサリや電池を使用してください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

水をかけないでください
本機は防水仕様ではありません。水気のあるところで使用しないでください。

データのバックアップ
本機に保存した重要なデータは、すべてバックアップ、またはメモを取るようにしてください。

他の機器への接続
本機を他の機器へ接続する場合、その製品に付属の取扱説明書に記載された安全上の注意をお読みください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

緊急通報
本機の電源が入っており、サービスエリア内であることを確認します。キーパッドは、本機がオープンポジションモードの状態でのみ使用できます。終了ボタンを必要なだけ押して通話中の電話を終了する、または使用中のメニューを終了し、待受画面に戻します。
緊急通報の電話番号を入力し、開始ボタンを押します。電話がつながったら現在地を知らせて、指示があるまで電話を切らないでください。

■ 本機について

本機は、EGSM 900/1800/1900 ネットワーク上での利用が認められています。これらのネットワークについての詳細は、ご契約されているサービスプロバイダにご確認ください。

本機を、すべての法律に従って正しくご使用ください。また、他人のプライバシーや正当な権利を尊重し、適切なご使用を心がけてください。

画像撮影やビデオ録画は、すべての法律に従い、他人のプライバシーや正当な権利、またご使用になる国や地域の習慣を尊重し、適切なご使用を心がけてください。

警告：アラーム以外の本機のあらゆる機能を使うためには、電源を入れる必要があります。電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。

■ ネットワークサービス

本機を利用するにあたって、サービスプロバイダのサービスが必要となります。本機の機能のほとんどがネットワーク側の機能に依存しています。これらのネットワークサービスは、すべてのネットワークで利用できるとは限りません。また、ネットワークサービスをご利用になる前に、ご契約されているサービスプロバイダのサービスに加入するなどの手続きが必要になる場合があります。ご契約されているサービスプロバイダから、サービスをご利用になる際の追加の指示や、課金についての説明が必要になる場合があります。一部のネットワークでは、ネットワークサービスの利用に制限がある場合があります。ネットワークによっては、各言語特有の文字やサービスをすべてサポートできない場合があります。

ご契約されているサービスプロバイダが、本機の一部の機能を停止、または無効にしている場合があります。その場合は、それらの機能が本機のメニューに表示されません。本機は特別な仕様に設定されている場合があります。その場合は、メニュー名やメニューの順番、アイコンなどが異なって表示される場合があります。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

本機は、TCP/IP プロトコルを基盤とした WAP 2.0 プロトコル（HTTP と SSL）に対応しています。本機の MMS、ブラウザ、E-mail、またはブラウザや MMS を経由したコンテンツダウンロードなどの機能には、このような技術に対応したネットワークが必要になります。

■ 共有メモリ

メモリを共用する機能には、連絡先、文字メッセージ、インスタントメッセージ、SMS E-mail、音声タグ、カレンダー、およびノートがあります。これらのうち 1 つまたは複数の機能を使用すると、メモリを共有する他の機能が使用できるメモリがそれだけ少なくなります。たとえば、多数の SMS E-mail を保存すると、使用可能なメモリを占有してしまうことがあります。その場合には、メモリを共有する他の機能を使用しようとすると、メモリがいっぱいであることを示すメッセージが表示されます。この場合、メモリに保管されている不要な情報やエントリを削除してから必要な機能を使用してください。連絡先や文字メッセージ、インスタントメッセージ、SMS E-mail など、一部の機能には、他の機能と共有するメモリのほかに、一定量のメモリがそれらの機能専用に割り当てられている場合があります。

■オプション

アクセサリやオプションについては次の点に注意してください。

- アクセサリやオプション類は小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
- アクセサリやオプションの電源コードを外す際には、コードではなくプラグを持って抜いてください。
- オプションを自動車に取り付ける場合には、正しく取り付けられ、機能しているか定期的にチェックしてください。
- 複雑なオプションを自動車に取り付ける場合は、必ず有資格者に依頼してください。

はじめに

■ 多彩な機能

本機は、カレンダー、時計、アラーム、カメラなど、日常的に使用できるさまざまな機能を搭載しています。さらに、次のような機能があります。

- マルチメディアメッセージ - 「マルチメディアメッセージ(MMS)」(P. 19)を参照してください。
- インスタントメッセージ(チャット)- 「インスタントメッセージ(IM)」(P. 22)を参照してください。
- E-mail - 「 E-mail アプリケーション」(P. 26)を参照してください。
- プレゼンス情報 - 「マイプレゼンス」(P. 35)を参照してください。
- EDGE(Enhanced Data rates for GSM Evolution)- 「パケットデータ(EGPRS)」(P. 43)を参照してください。
- Java 2 Platform, Micro Edition, J2ME® - 「アプリケーション」(P. 55)を参照してください。
- XHTML ブラウザ - 「Web」(P. 61)を参照してください。

■ アクセスコード

セキュリティコード

セキュリティコード(5 ~ 10 桁)は本機を不正使用から保護するためのものです。お買い上げの際には「12345」に設定されています。セキュリティコードを変更したり、セキュリティコードの入力が必要になるよう設定する場合は、「セキュリティ」(P. 46)を参照してください。

PIN コード

PIN コード(Personal Identification Number)と UPIN コード(Universal Personal Identification Number)(4 ~ 8 桁)は、SIM カードの不正使用を防止するためのものです「セキュリティ」(P. 46)を参照してください。

一部の機能を利用する際に必要になる PIN 2 コード(4 ~ 8 桁)は、通常、SIM カードの購入時に提供されます。

モジュール PIN は、セキュリティモジュール内の情報を使用する際に必要です。「セキュリティモジュール」(P. 66)を参照してください。

署名 PIN は、デジタル署名を行う際に必要です。「デジタル署名」(P. 67)を参照してください。

PUK コード

ブロックされた PIN コードや UPIN コードを変更するには、PUK コード（Personal Unblocking Key）や UPUK コード（Universal Personal Unblocking Key）（8 桁）がそれぞれ必要です。ブロックされた PIN 2 コードを変更するには、PUK 2 コード（8 桁）必要です。これらのコードが SIM カードの購入時に提供されていない場合は、購入先のサービスプロバイダにお問い合わせください。

発着信規制パスワード

発着信規制パスワード（4 桁）は *Call barring service* を利用する際に必要です「セキュリティ」（P. 46）を参照してください。

ウォレットコード

ウォレットコード（4 ～ 8 桁）はウォレットサービスを利用する際に必要です。（「ウォレット」P. 58 参照）。

■ 設定サービス

モバイルインターネットサービスや、MMS、リモートのインターネットサーバーとの同期化など、一部のネットワークサービスを利用するためには、本機が正しく設定されていなければなりません。このような設定値は、設定メッセージとして直接受信できる場合があります。設定値を受信する場合には、それらの値を本機に保存してください。ただし、設定値の保存に必要な PIN がサービスプロバイダから提供される場合があります。詳しくはご契約されている携帯電話事業者やサービスプロバイダまでお問い合わせいただくか、Nokia Web サイト <www.nokia-asia.com/support> のサポートに関する内容をご覧ください。

設定メッセージを受信すると、「*Configuration sett. received* 」が表示されます。

受信した設定値を保存するには、[Show]、[Save] の順に選択します。「*Enter settings' PIN:*」が表示された場合は、設定値の PIN コードを入力し、[OK] を選択します。PIN コードの入手については、設定値を提供するサービスプロバイダにお問い合わせください。設定値を初めて保存する場合は、これらの設定値が保存され、デフォルトの値として設定されます。初めてでない場合は、「*Activate saved configura-tion settings?*」が表示されます。

受信した設定値を破棄する場合は、[Exit] か、または [Show]、[Discard] の順に選択します。

設定値を編集する場合は、「構成の設定」（P. 45）を参照してください。

■ コンテンツとアプリケーションのダウンロード

新しいコンテンツ（たとえば、テーマ）を本機にダウンロードできます（ネットワークサービス）。ダウンロードするには、ダウンロード機能（たとえば、「*Gallery*」メニュー）を選択します。ダウンロード機能の利用については、それぞれのメニューの説明を参照してください。提供されるサービスや、料金制度、料金表については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

重要：サービスにアクセスする際は、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

■ Nokia のサポートと連絡先情報

この取扱説明書の最新版や、ダウンロード、サービス、あるいは本機に関する追加情報をご利用になりたい場合は、www.nokia.com/support にアクセスするか、各国の Nokia Web サイトを参照してください。さらに、ご利用の携帯電話のモデルに適したサービス（MMS、GPRS、E-mail など）の設定値を www.nokia-asia.com/phonesettings からダウンロードできます。

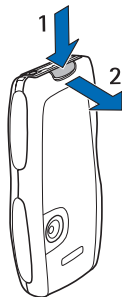
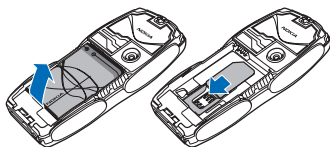
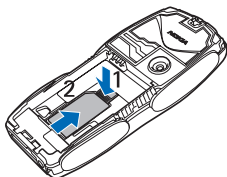
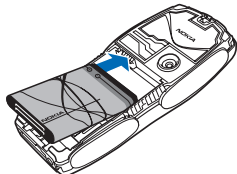
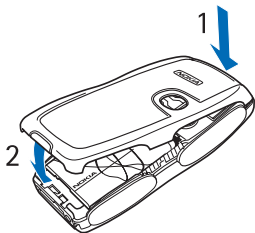
その他のサポートについては、www.nokia.co.jp/contactus を参照してください。

1. お使いになる前に

■ SIM カードと電池パックを取り付ける

SIM カードは、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。SIM カードサービスの使用についての情報は、SIM カードベンダーにお問い合わせください。SIM カードベンダーとは、サービスプロバイダ、ネットワークオペレータ、またはその他の業者をさします。

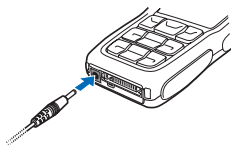
注意：カバーを取り外す際には、必ず本機の電源を切り、充電器などの機器の接続をはずしてください。また、カバーを取り替える際には、電子部品に触らないでください。本機を保管したり使用したりする際には、必ずカバーを取り付けた状態で行ってください。

1. 本体のバックカバーを取り外すには、バックカバーを外すボタンを押し（1）、バックカバーを本体の下部から静かに取り外します（2）。

2. 図のように、電池パックを持ち上げながら外します。SIM カードを SIM カードホルダーにカチッと音がするまで差し込みます。SIM カードが正しく差し込まれ、カードの IC 面が下を向いているか確認します。

3. SIM カードを取り外すには、カードを外すボタンを押し（1）、SIM カードを本体の上部方向へスライドさせます（2）。

4. 電池パックを戻します。電池パックが正しく接触しているか確認してください。

5. バックカバーの上部と本体の上部を合わせ（1）、バックカバーの下部を押して固定します（2）。

■ 電池を充電する

警告：本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。充電器をご使用になる前に、その型番を確認してください。本機は、ACP-7 および ACP-12 充電器に対応しています。

本機に対応している電池は、BL-5B です。

認定アクセサリの在庫状況については、ハローノキアまでお問い合わせください。アクセサリの電源コードを外す際には、コードではなくプラグを持って抜いてください。

1. 充電器を壁のコンセントに接続します。

2. 充電器のコネクタを本体底辺のソケットに接続します。

電池の残量がまったくない状態で充電すると、充電中であることを示すアイコンが表示されるまでに、または電話の発着信ができる状態になるまでに数分かかります。

充電時間は、使用する充電器と電池パックにより異なります。たとえば、待受モードの状態で充電器ACP-12を使って電池パックを充電すると、約1時間20分かかります。

■ 電源を入れる / 切る

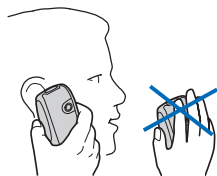
警告: 無線電話の使用が禁止されている場合や、電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。

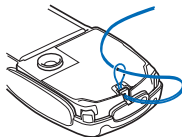
電源ボタンを押し続けます。

PINコードまたはUPINコードの入力を要求された場合は、コードを入力し、[OK]を選択します（入力したコードは「****」で表示されます）。

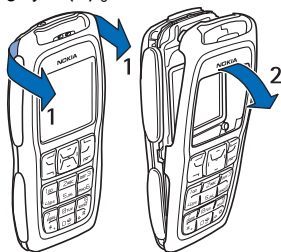
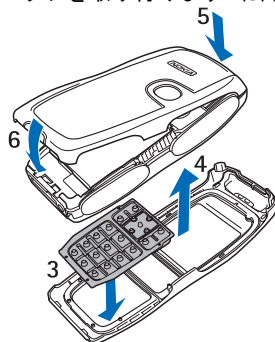
■ アンテナ

アンテナは本体に内蔵されています。

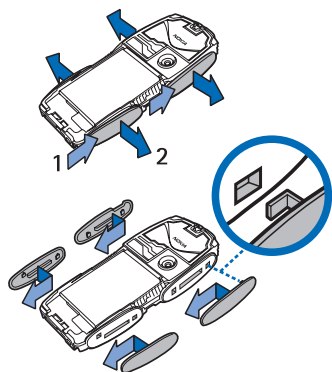
注意：他の無線機器の場合と同様に、電源が入っている状態でアンテナ部分に不必要に触れないでください。アンテナ部分に触れると、通話品質が低下するだけでなく、通常よりも多くの電力を消費する原因になります。アンテナの性能を最適に保ち電池の消耗を防ぐために、本機の使用中にはアンテナ部分に触れないでください。

■ リストストラップ

バックカバーを取り外し、ストラップを図のように通して結びます。バックカバーを戻します。

■ 本体のカバーを取り替える

注意：カバーを取り外す際には、必ず電源を切り、充電器などの機器の接続を外してください。さらに、カバーを取り替える際には、電子部品に触らないでください。本機を保管したり使用したりする際には、必ずカバーを取り付けた状態で行ってください。

1. 本体からバックカバーを取り外します（P.1 参照）。
2. 本体からフロントカバーを取り外します。フロントカバーを本体の上部から静かに引き離し（1）フロントカバーを外します（2）。

3. フロントカバーからキーマットを静かに取り外します。
4. 新しいフロントカバーにキーマットを取り付けます（3）。

5. カチッと音がするまでフロントカバーを本体に静かに押し付け、新しいフロントカバーを取り付けます（4）。
6. バックカバーの上部と本体の上部を合わせ（5）、バックカバーの下部を押して固定します（6）。

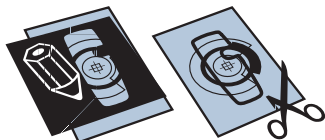
■ グリップを取り替える

1. 本体のカバーを取り外します（「本体のカバーを取り替える」P. 4 参照）
2. グリップを取り外します。グリップを本体の上部方向にスライドさせ（1）、グリップを取り外します（2）。

3. 図のようにしてグリップを取り替えます。
4. 本体のカバーを元に戻します（「本体のカバーを取り替える」P. 4 参照）。

■ カットアウトカバーを作成する

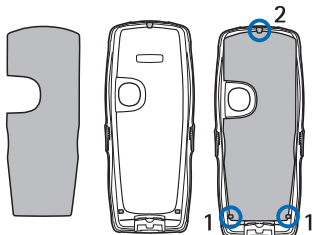
プラスチックの型紙を使って、お客様のオリジナルのデザインをもつカットアウトカバーを作成します。

注意：通常のプリンタで使用する普通紙か、0.3 mm 未満の写真印刷を使用してください。アンテナの性能に影響を与えないために、金属粒子が含まれていないものを使用してください。

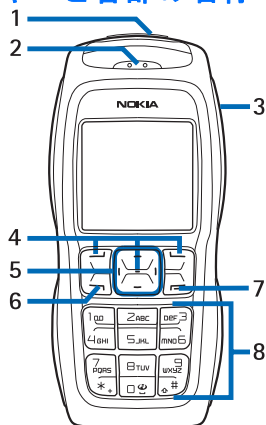
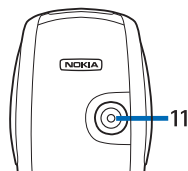
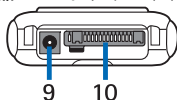
1. 型紙を適切な場所に置き、輪郭線を引きます。

2. 新しいカットアウトカバーをていねいに切り取ります。

ヒント：Nokia PC Suite のイメージエディタには、カットアウトカバーを作成するツールが含まれています。

■ カットアウトカバーを取り替える

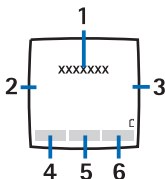
1. 本体からバックカバーを取り外します（「本体のカバーを取り替える」P. 4 参照）。
2. バックカバーからカットアウトカバーを取り外します。

3. 新しいカットアウトカバーをバックカバーに取り付けます。それには、カットアウトカバーを下部の 2 つのガイドの下にスライドさせ（1）、次に上部のガイドの下にスライドさせます（2）。
4. バックカバーを戻します。

2. 各部の名称と機能

■ キーと各部の名称

- 電源ボタン（1）
- イアピース（2）
- スピーカー（3）
- 左、中、右選択キー（4）
- 4 方向ナビゲーションキー（5）
- 開始ボタン（6）
- 終了ボタン（7）
- キーパッド（8）
- 充電器のコネクタ（9）

- Pop-Port™ コネクタ（10）
- カメラレンズ（11）

■ 待受モード

本機が使用できる状態で、画面に文字や数字が何も入力されていない状態のことを待受モードといいます。

- ネットワーク名か、通信事業者のロゴ（1）
- 現在の場所での電波の強さ（2）
- 電池の残量（3）
- 左選択ボタンは [Go to]（4）です。
- 中選択ボタンは [Menu]（5）です。
- 右選択ボタンは [Names]（6）または選択する機能へのショートカットです。「個人用ショートカット」（P. 41）を参照してください。携帯電話事業者によっては、事業者固有の Web サイトにアクセスする独自の名前をもっていることがあります。

個人用ショートカットリスト

左選択キーは [Go to] です。

個人用ショートカットリストにある機能を表示するには [Go to] を選択します。特定の機能を選択すると、その機能が有効になります。

使用可能な機能のリストを表示するには、[Go to]、[Options]、「*Select options*」の順に選択します。機能をショートカットリストに追加するには [Mark] を選択します。リストから機能を削除するには [Unmark] を選択します。

個人用ショートカットリストにある機能を並べ替えるには、[Go to]、[Options]、「*Organise*」の順に選択します。次に、並べ替える機能と [Move] を選択してから機能の移動先を選択します。

待受モードでのショートカット

以前にダイヤルした番号のリストを表示するには、開始ボタンを一度だけ押します。その中の番号を呼び出すには、必要な番号または名前までスクロールし、開始ボタンを再び押します。

Web ブラウザを開くには「0」を長く押します。

音声メールボックスを呼び出すには「1」を長く押します。

ナビゲーションボタンをショートカットとして使用できます。カレンダーを使用するにはナビゲーションボタンの右を、SMS メッセージを書き始めるには左を、カメラを有効にするには上を、連絡先のリストを表示するには下をそれぞれ押します。

省電力画面

待受画面で何も操作せずに一定の時間が経過すると、電池を節約するためにデジタル時計が表示されます。キーをどれか押せば、このスクリーンセーバーは消えます。

待受画面で表示されるアイコン

文字、画像、またはマルチメディアメッセージを受信したときに表示されます（「SMS メッセージを読む / 返信する」p. 17 または「MMS を読む / 返信する」p. 20 参照）。

不在着信があったときに表示されます（「発着信履歴」P. 32 参照）。

IM（インスタントメッセージサービス）に接続されていることを示します。サービスの状態としてオンラインかオフラインが表示されます。「IM（インスタントメッセージ（チャット）サービス）に接続する」（P. 23）を参照してください。

IM（インスタントメッセージ）を受信し、かつインスタントメッセージサービスに接続されているときに表示されます。「IM（インスタントメッセージ（チャット）サービス）に接続する」（P. 23）を参照してください。

キーパッドがロックされています。「キーパッドロック（キーガード）」（P. 10）を参照してください。

着信音「*Incoming call alert*」とメッセージ受信音「*Message alert tone*」が「*Off*」に設定されているときに表示されます。「音の設定」（P. 40）を参照してください。

アラームが「*On*」に設定されているときに表示されます。「アラーム」（P. 51）を参照してください。

EGPRS 接続モード「*Always online*」が選択されていて、EGPRS サービスが利用可能なときに画面左上に表示されます。「パケットデータ（EGPRS）」（P. 43）を参照してください。

EGPRS 接続が確立されているときに画面左上に表示されます。「パケットデータ（EGPRS）」（P. 43）および「ページを閲覧する」（P. 62）を参照してください。

EGPRS 接続が保留状態（on hold）のときに表示されます。たとえば、EGPRS ダイヤルアップ接続時に着信通話や発信通話がすでにあるような場合です。

スピーカーが起動しているときに表示されます（「通話中のオプション」P. 12 参照）。

通話が特定のユーザグループに限定されているときに表示されます。「セキュリティ」（P. 46）を参照してください。

ヘッドセットやハンズフリーが接続されているときに表示されます。

ループセットやミュージックスタンドが接続されているときに表示されます。

■キーパッドロック（キーガード）

ボタンを誤って押してしまうのを防ぐには、[Menu] を選択し、約 3.5 秒以内に「*」を押してキーパッドをロックします。

キーパッドのロックを解除するには、[Unlock] を選択し、「*」を押します。

キーガードがオンの状態で電話に応答するには、開始ボタンを押します。通話が終わるか、通話を拒否すると、キーパッドは自動的にロックされます。

「*Automatic keyguard*」については、「電話機の設定」（P. 43）を参照してください。

キーガードがオンのときでも、緊急電話番号として本機に登録された番号には電話をかけることができます。

3. 通話機能

■ 電話をかける

1. 電話番号を市外局番から入力します。

   国際電話をかける場合は「*」を2回押して国際電話の接頭番号を入力します（「+」記号が国際電話のアクセスコードです）。次に国番号、市外局番（必要に応じてはじめの「0」を省く）、電話番号の順に入力します。

2. 開始ボタンを押して、電話をかけます。

3. 通話を終了するか取り消すには、終了ボタンを押します。

登録してある名前、電話番号から電話をかける場合は、「*Contacts*」から検索します（「連絡先を検索する」P. 33 参照）。開始ボタンを押してその番号に電話をかけます。

待受画面で開始ボタンを1回押すと、以前にかけた（またはかけようとした）電話番号が最新のものから 20 件表示されます。電話をかける番号または名前を選択し、開始ボタンを押して電話をかけます。

ワンタッチダイヤル

ダイヤルボタン [2] ～ [9] に電話番号を登録します。「ワンタッチダイヤル」（P. 37）を参照してください。次のいずれかの方法で電話をかけます。

- 電話番号を登録したダイヤルボタンを押し、開始ボタンを押します。
- 「*Speed dialling*」の設定が「*On*」になっている場合は、該当のダイヤルボタンを電話がかかるまで押し続けます（「発着信の設定」の「*Speed dialling*」P. 42 を参照）。

■ 電話を受ける / 電話の応答を拒否する

電話を受けるには、開始ボタンを押します。通話中の電話を終了するには、終了ボタンを押します。

着信を拒否するには、終了ボタンを押します。

着信中に着信音を消音にするには、「Silence」を選択します。

ヘッドセットが電話に接続されている場合、ヘッドセットキーを押すことにより、電話に応答したり、通話を終了することができます。

割込通話

通話中に別の電話がかかってきたら、開始ボタンを押して応答します。最初の通話は保留になります。通話中の電話を終了するには、終了ボタンを押します。

「*Call waiting*」機能を開始するには、「発着信の設定」（P. 42）を参照してください。

■ 通話中のオプション

通話中に使用できるオプションの多くはネットワークサービスです。サービスの有無については、携帯電話事業者にお問い合わせください。

通話中に [Options] を選択してから次のオプションを選択します。

通話中のオプションには、「*Mute*」または「*Unmute*」、「*Contacts*」、「*Menu*」、「*Record*」、「*Lock keypad*」、「*Auto volume on*」または「*Auto volume off*」、「*Loudspeaker*」、「*Handset*」があります。

ネットワークサービスオプションには、「*Answer*」および「*Reject*」、「*Hold*」または「*Unhold*」、「*New call*」、「*Add to conference*」、「*End call*」、「*End all calls*」のほか、次のものがあります。

「*Send DTMF*」は、パスワードや銀行の口座番号などをプッシュトーンとして送信するときに選択します。

「*Swap*」は、通話中の電話と保留中の電話を切り替えます。

「*Transfer*」は、保留中の電話を通話中の電話に接続し、自分自身は電話を切ります。

「*Conference*」は、電話会議を行います。会議には最大 5 人が参加できます。

「*Private call*」は、電話会議の中で特定の参加者とだけ通話します。

警告 :スピーカーの使用中は本機を耳元で使用しないでください。音量が非常に大きくなることがあります。

4. 文字を入力する

文字の入力方法には、「通常入力」と「予測文字入力」があります。通常入力を使用する場合は、必要な文字が現れるまで番号ボタン **1** ～ **9** を繰り返し押します。予測文字入力では 1 回のボタン操作で文字を入力できます。

文字の入力時に予測文字入力を使用している場合は が、通常文字入力を使用している場合は がそれぞれ画面左上に表示されます。このアイコンの後には、文字入力モードとして Abc（文頭大文字モード）、abc（小文字モード）、または ABC（大文字モード）が表示されます。

文字入力モードや文字入力方法を切り替えるには「**#**」を押します。123 は数字モードを表します。文字モードを数字モードに切り替えるには「**#**」を長く押してから「*Number mode*」を選択します。

■ 設定

入力言語を設定するには、[Options]、「*Dictionary*」の順に選択してから必要な言語を選択します。予測文字入力が使用できるのは、そこに表示される言語の場合だけです。

設定を通常文字入力に戻すには、[Options]、「*Dictionary off*」の順に選択します。

■ 予測文字入力（英文）

予測文字入力では、本機に内蔵されている辞書を使用します。辞書には新しく単語を登録することができます。

1. 「**2**」から「**9**」のダイヤルボタンを使って単語の入力を開始します。1 文字につき、該当するダイヤルボタンを 1 回だけ押してください。押すたびに単語が変化します。
2. 入力したい単語が表示されたら、それを確定するために、「**0**」を押してスペースを追加するか、ナビゲーションボタンのどれかを押します。ナビゲーションボタンを押すと、カーソルが移動します。

   単語が正しくない場合は、「*****」を繰り返し押すか、[Options]、「*Matches*」の順に選択します。入力したい単語が表示されたらそれを確定します。

   単語の後に「?」が表示されている場合は、入力したい単語が辞書にないことを意味します。単語を辞書に登録するには、[Spell] を選択します。通常入力を使って単語を入力してから [Save] を選択します。
3. 次の単語を入力します。

複合語を入力する

単語の最初の部分を入力し、右方向のナビゲーションボタンを押して単語を確定します。最後の部分を入力し単語を確定します。

■ 通常文字入力

必要な文字が現れるまで番号ボタン1～9を繰り返し押します。数字ボタンには、そのボタンで使用できるすべての文字が刻印されているとは限りません。どのような文字が使用できるかは、「*Phone language*」メニューで選択した言語によります（「電話機の設定」P. 43参照）。

次に入力したい文字が同じボタン上にある場合は、カーソルが現れるまで待つか、ナビゲーションボタンのどれかを押してから文字を入力します。

ほとんどの一般的な句読点や特殊文字はボタン「1」にあります。

5. メニューの使い方

本機に搭載されているさまざまな機能は、メニュー別にまとめられています。

1. メニューを使用するには [Menu] を選択します。
2. ナビゲーションボタンを使ってメニューをスクロールし、サブメニュー（たとえば、「*Settings*」）を選択します。メニューの表示を変更する場合は「画面の設定」（P. 41）の「*Menu view*」を参照してください。
3. メニューにサブメニューが含まれている場合は、そこから目的のもの（たとえば、「*Call settings*」）を選択します。
4. 選択したメニューにさらにサブメニューが含まれている場合は、そこから目的のもの（たとえば、「*Anykey answer*」）を選択します。
5. 必要な設定を選択します。
6. 1 つ上のレベルのメニューに戻るには [Back] を選択します。メニューを終了するには [Exit] を選択します。

6. メッセージ

メッセージサービスを使用するには、そのサービスがネットワークやサービスプロバイダによってサポートされていなければなりません。

注意：メッセージを送信すると、「*Message sent*」が表示されることがあります。これは、メッセージが本機から本機に組み込まれたメッセージセンターの番号に送信されたことを示すものであり、メッセージが本来の宛先に到着したことを示すものではありません。メッセージサービスの詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

重要：メッセージの開封は慎重に行ってください。メッセージには、悪意をもったソフトウェアや、本機やPCにとって有害な内容が含まれていることがあります。

注意：メッセージを受信し表示できる電話機は、本機と互換性のある機能をもつものに限られます。メッセージがどのように表示されるかは、受信側の電話機に依存します。

■ 文字メッセージ（SMS）

SMS（Short Message Service）では、いくつかの通常の文字メッセージからなる連結メッセージを送受信できます（ネットワークサービス）。メッセージには画像を含めることができます。

文字、画像、E-mail のメッセージを送信するためには、まずメッセージセンターの番号を保存する必要があります。「メッセージの設定」（P. 29）を参照してください。

SMS E-mail サービスの有無やその契約については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

本機は、1 つのメッセージで送信できる文字数の制限を越えたメッセージの送信をサポートしています。長いメッセージは、複数のメッセージとして送信されます。サービスプロバイダは、それに応じた課金を行います。アクセント記号などの符号を使用する文字や、中国語などの言語オプションを使用すると、その分だけ多くのスペースが必要になるため、1 つのメッセージで送信できる文字数が少なくなります。

画面上部には、あと何文字入力できるかが表示されます。たとえば、10/2 は、メッセージを 2 つに分割して送信する場合、あと 10 文字入力できることを示します。

SMS メッセージを作成して送信する

1. [Menu] を押し「*Messages*」、「*Create message*」、「*Text message*」の順に選択します。
2. メッセージを入力します。「文字を入力する」(P. 13) を参照してください。メッセージに文字テンプレートや画像を挿入する場合は「テンプレート」(P. 18) を参照してください。それぞれの画像メッセージは、いくつかの文字メッセージから構成されます。画像メッセージや連結メッセージを送信すると、文字メッセージよりも費用が高くなる可能性があります。
3. メッセージを送信するには、[Send] を選択するか開始ボタンを押します。

注意：画像メッセージの機能を使用するためには、ご契約されている携帯電話事業者やサービスプロバイダがそれをサポートしていなければなりません。さらに、本機と互換性のある画像メッセージ機能を搭載した電話機でなければ、画像メッセージを受信し表示することはできません。メッセージがどのように表示されるかは、受信側の電話機に依存します。

メッセージの送信オプション

メッセージを作成したら、[Options] を押し「*Sending options*」、「*Send to many*」の順に選択して、複数の宛先にメッセージを送信します。メッセージを SMS E-mail として送信する場合は、「*Send as e-mail*」を選択します（ネットワークサービス）。事前に定義したメッセージプロファイルを使用する場合は、「*Sending profile*」を選択します。メッセージプロファイルを編集する場合は、「文字メッセージと SMS E-mail」(P. 29) を参照してください。

SMS メッセージを読む / 返信する

SMS メッセージや SMS E-mail を受信すると、✉ が表示されます。✉ が点滅している場合は、メッセージメモリがいっぱいであることを意味します。新しいメッセージを受信する前に「*Inbox*」フォルダから不要なメッセージを削除してください。

1. 新しいメッセージをすぐに見る場合は [Show] を選択します。後で見る場合は [Exit] を選択します。

   後になってからメッセージを見るには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*Inbox*」の順に選択します。複数のメッセージが受信されている場合は、読みたいメッセージを選択してください。✉ は未読のメッセージを示します。
2. メッセージを開いている状態で [Options] を選択すれば、メッセージを削除したり転送することができます。あるいは、メッセージを文字メッセージ

または SMS E-mail として編集したり、そのメッセージの名前を変更したり、メッセージを別のフォルダに移動したりすることができます。また、メッセージの本文を見たり抽出したりすることもできます。さらに、メッセージのはじめの部分をカレンダーにコピーすれば、予定表として使用できます。画像メッセージを読んでいる間に画像を「*Templates*」フォルダに保存するには、「*Save picture*」を選択します。

3. メッセージとして返信するには、[Reply]、「*Text message*」(または「*Multimedia msg.*」または「*Flash message*」)の順に選択してから、返信メッセージを入力します。E-mail に返信する場合は、最初に E-mail のアドレスと件名を確認または編集してください。
4. 表示された番号にメッセージを送信するには、[Send]、[OK] の順に選択します。

テンプレート

本機には、文字テンプレート と画像テンプレート があります。これらのテンプレートは、SMS や MMS、SMS E-mail メッセージで使用できます。

テンプレートリストを表示するには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*Saved items*」、「*Text messages*」、「*Templates*」の順に選択します。

アーカイブフォルダとマイフォルダ

メッセージを整理するために、メッセージを「*Saved items*」フォルダに移動したり、メッセージ用のフォルダを新たに追加したりすることができます。メッセージを移動するには、メッセージを表示した状態で、[Options] を押し「*Move*」、「メッセージを移動する先のフォルダ」、[Select] の順に選択します。

フォルダを追加するには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*Saved items*」、「*Text messages*」、「*My folders*」の順に選択します。フォルダが一切保存されていない状態でフォルダを追加する場合は [Add] を、そうでない場合は [Options]、「*Add folder*」の順に選択します。フォルダを削除するには、削除するフォルダを選択してから [Options]、「*Delete folder*」の順に選択します。

■ マルチメディアメッセージ（MMS）

マルチメディアメッセージには、文字、サウンド、画像、カレンダーノート、ビジネスカード、ビデオクリップなどを含むことができます。ただし、メッセージが長すぎると、受信できない場合があります。ネットワークによっては、マルチメディアメッセージを表示するためのインターネットアドレスを含む文字メッセージを使用できます。

通話中やゲーム中、別の Java アプリケーションの実行中、もしくは GSM データに対するブラウズセッションの最中には、マルチメディアメッセージを受信できません。マルチメディアメッセージの配信はさまざまな理由で失敗することがあるため、重要な通信の場合はこれだけに頼らないでください。

MMS を作成する / 送信する

マルチメディアメッセージの設定については、「マルチメディア」（P. 29）を参照してください。マルチメディアメッセージサービスの有無や契約については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

1. [Menu] を押し「*Messages*」、「*Create message*」、「*Multimedia message*」の順に選択します。
2. メッセージを入力します。「文字を入力する」（P. 13）を参照してください。

ファイルを挿入するには、[Options]、「*Insert*」、そして次のオプションをどれか選択します。

「*Gallery*」にあるファイルを挿入する場合は、「*Image*」、「*Sound clip*」、または「*Video clip*」を選択します。

新しいレコードをメッセージに追加する場合は、「*New sound clip*」（「*Voice recorder*」をオープンする）を選択します。

スライドをメッセージに挿入する場合は、「*Slide*」を選択します。本機は、いくつかのページ（スライド）を含むマルチメディアメッセージをサポートします。スライドには、文字や、1 つのイメージ、1つのカレンダーノート、1 つのビジネスカード、1 つのサウンドクリップを組み込むことができます。メッセージに複数のスライドが含まれている場合、必要なスライドを開くには、[Options] を押し「*Previous slide*」（または「*Next slide*」または「*Slide list*」）の順に選択します。スライドの表示時間間隔を設定するには、[Options]、「*Slide timing*」の順に選択します。文字部分をメッセージの最初または最後に移動するには、[Options] を押し「*Place text first*」（または「*Place text last*」）の順に選択します。

ビジネスカードやカレンダーノートをメッセージに挿入す

るには、「*Business card*」または「*Calendar note*」を選択します。

さらに、そのほかのオプションとして、「*Delete*」（画像やスライド、サウンドクリップをメッセージから削除する場合）や、「*Clear text*」、「*Preview*」、「*Save message*」が使用できます。さらに、「*More options*」では、「*Insert contact*」、「*Insert number*」、「*Message details*」、および「*Edit subject*」が使用できます。

3. メッセージを送信するには、[Send]、「*Phone number*」（または「*E-mail address*」または「*Many*」）の順に選択します。

4. 連絡先をリストから選択するか、受信者の電話番号または E-mail アドレスを入力するか、「*Contacts*」の中から見つけます。次に [OK] を選択します。メッセージが送信用の「*Outbox*」フォルダに移動します。

   マルチメディアメッセージの送信中は、アニメーションアイコン が表示されます。この間に他の機能を使用することもできます。何らかの理由で送信に失敗した場合は、メッセージの再送信が数回試みられます。それでも送信できない場合、送信は中止されます。ただし、メッセージが「*Outbox*」フォルダに残るので、後で送信を試みることができます。

   「*Save sent messages*」、「*Yes*」の順に選択すると、送信済みのメッセージが「*Sent items*」フォルダに保存されます。「マルチメディア」（P. 29）を参照してください。

著作権保護のために、画像や音楽（呼び出し音を含む）など一部のコンテンツには、コピーや変更、送信、転送ができないものがあります。

MMS を読む / 返信する

重要: メッセージの開封は慎重に行ってください。マルチメディアメッセージを構成する要素には、悪意をもったソフトウェアや、本機や PC にとって有害な内容が含まれていることがあります。

マルチメディアメッセージを受信すると、アニメーション表示された が表示されます。メッセージがすでに受信されている場合は、 と「*Multimedia message received*」が表示されます。

1. メッセージをすぐに読む場合は [Show] を、後で読む場合は [Exit] を選択します。

   後でメッセージを読むには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*Inbox*」の順に選択します。メッセージリストの中で が付いているメッセージが未読メッセージです。表示したいメッセージを選択してください。

2. 中選択ボタンの機能は、メッセージのどの添付が表示されているかによって異なります。

   受信したメッセージにプレゼンテーションやサウンドクリップ、ビデオクリップが含まれている場合、メッセージ全体を表示するには [Play] を選択します。

   画像を拡大するには、[Options] から、「*Objects*」、そして拡大する画像を選択し、次に「Zoom」を選択します。ビジネスカードやカレンダーノートを表示したり、テーマオブジェクトを開くには、「*Attachments*」、[Open] の順に選択します。

3. メッセージに返信するには、[Options] を選択し、「*Reply*」、「*Text message*」（または「*Multimedia msg.*」、または「*Flash message*」）の順に選択します。次に返信メッセージを入力し、[Send] を押します。返信メッセージは、元のメッセージの送信者だけに送られます。

   オプションを使用するには [Options] を選択します。

メッセージフォルダ

受信したマルチメディアメッセージは「*Inbox*」フォルダに保存されます。送信されなかったマルチメディアメッセージは「*Outbox*」フォルダに移されます。後で送りたいマルチメディアメッセージは「*Saved items*」フォルダに保管することができます。

「*Save sent messages*」が「*Yes*」に設定されていると、送信済みのマルチメディアメッセージは、「*Multimedia msgs.*」サブメニューの「*Sent items*」フォルダに保存されます。「マルチメディア」(P. 29) を参照してください。

■ メモリの不足

新しい文字メッセージを受信したときにメッセージメモリがいっぱいだと ✉ が点滅し、「*Text msgs. memory full.Delete msgs.*」が表示されます。[No] を選択し、フォルダから不要なメッセージを削除してください。受信待ちのメッセージを破棄する場合は [Exit]、[Yes] の順に選択します。

新しいマルチメディアメッセージを受信したときにメッセージ用メモリがいっぱいの場合、✉ が点滅し、「*Multimedia memory full. View waiting msg.*」が表示されます。このメッセージを表示するには [Show] を選択します。このメッセージを保存する場合は、不要なメッセージを削除してメモリの空き容量を増やす必要があります。メッセージを保存するには [Save] を選択します。

受信したメッセージを破棄するには [Exit]、[Yes] の順に選択します。[No] を選択すると、メッセージを表示することができます。

■ フラッシュメッセージ

フラッシュメッセージは、受信と同時に表示される文字メッセージです。

メッセージを作成する

[Menu] を押し「*Messages*」、「*Create message*」、「*Flash message*」の順に選択し、メッセージを作成します。フラッシュメッセージの最大の長さは 70 文字です。点滅する文字をメッセージに挿入するには、[Options]、「*Insert blink char.*」の順に選択して、マーカーを設定します。このマーカーから次のマーカーまでの文字が点滅します。

メッセージを受信する

受信したフラッシュメッセージは、自動的には保存されません。メッセージを読むには [Read] を選択します。現在のメッセージから電話番号や E-mail アドレス、Web サイトアドレスを抽出するには、[Options]、「*Use detail*」の順に選択します。メッセージを保存するには [Save] を選択して、メッセージを保存する先のフォルダを選択します。

■ インスタントメッセージ（IM）

インスタントメッセージ機能（ネットワークサービス）は、短い簡単なメッセージをオンラインユーザーに送信する方法の1つです。

インスタントメッセージを使用するには、このサービスに加入する必要があります。サービスの有無や料金、加入については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。ユーザー ID やパスワード、設定値もサービスプロバイダから入手してください。

インスタントメッセージサービスに必要な設定については、「メニューを使用する」（P. 23）の「*Connect. settings*」を参照してください。画面のアイコンや文字は、使用するインスタントメッセージサービスによって異なります。

ネットワークによっては、インスタントメッセージの会話が電池の消耗を速めることがあります。その場合には、電話機を充電器に接続する必要があります。

メニューを使用する

オフラインの状態でメニューを使用するには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*Instant messages*」の順に選択します。インスタントメッセージサービスに対する接続設定値のグループがいくつかある場合は、使用するグループを選択します。1 つしかない場合は、それが自動的に選択されます。

次のオプションが表示されます。

「*Login*」- インスタントメッセージサービスに接続します。

「*Saved convers.*」- インスタントメッセージセッションで保存したインスタントメッセージの会話を表示、消去、またはその名前を変更します。

「*Connect. settings*」- メッセージ機能やプレゼンス接続に必要な設定値を編集します。

IM(インスタントメッセージ(チャット)サービス)に接続する

インスタントメッセージサービスに接続するには、「*Instant messages*」メニューに入り、インスタントメッセージサービスを起動し、「*Login*」を選択します。インスタントメッセージサービスに正常に接続されると、「*Logged in*」が表示されます。

インスタントメッセージサービスとの接続を切るには、「*Logout*」を選択します。

インスタントメッセージセッションを開始する

「*Instant messages*」メニューを開き、サービスに接続します。サービスには次のものがあります。

「*Conversations*」- アクティブなインスタントメッセージセッションで、インスタントメッセージ操作のための新規および既読のメッセージまたは招待のリストを表示します。必要なメッセージまたは招待にカーソルを移動し、[Open] を選択してメッセージを読みます。
は新規のグループメッセージを、 は既読のグループメッセージをそれぞれ表します。 は新規のインスタントメッセージを、 は既読のインスタントメッセージを表します。
は招待を表します。
画面に表示されるアイコンと文字は、インスタントメッセージサービスによって異なります。

「*IM contacts*」- 以前に追加した連絡先を表示します。チャットしたい連絡先にカーソルを移動し、[Chat] を選択します。ただし、新規の連絡先がリストにある場合は [Open] を選択します。連絡先を追加する場合は「インスタントメッセージの連絡先」(P. 25)を参照してください。
は、電話の連絡先メモリでその連絡先がオンラインになっていることを、 はオフラインになっていることを示します。 はブロックされた連絡先を、 は、新規のメッセージを送信した先の連絡先を示します。

「*Groups*」、「*Public groups*」の順に選択 - 携帯電話事業者やサービスプロバイダから提供された公開グループへのブックマークリストを表示します。特定のグループとのインスタントメッセージセッションを開始するには、そのグループにカーソルを移動し、[Join] を選択します。そして、この会話で使用するスクリーン名を入力します。グループ会話に参加できたらグループ会話を始めます。非公開グループを作成する場合は「グループ」(P. 26)を参照してください。

「*Search*」、「*Users*」(または「*Groups*」)の順に選択 – このネットワーク上で行われている他のインスタントメッセージユーザーや公開グループを電話番号やスクリーン名、E-mail アドレス、名前で探します。「*Groups*」を選択すると、グループのメンバーや、グループ名、トピック、ID でグループを探すことができます。
ユーザーやグループが見つかった後で会話を開始するには、[Options] を押し「*Chat*」(または「*Join group*」)の順に選択します。
「*Contacts*」から会話を開始する場合は、「登録者名を表示する」(P. 36)を参照してください。

招待を受ける / 拒否する

待受画面で、インスタントメッセージサービスに接続された状態で新しい招待を受信すると、「*New invitation received*」が表示されます。それを読むには [Read] を選択します。複数の招待を受信している場合は、必要な招待にカーソルを移動し、[Open] を選択します。非公開グループの会話に参加するには [Accept] を選択し、スクリーン名を入力します。あるいは、招待を拒否または削除する場合は、[Options] を押し「*Reject*」(または「*Delete*」)の順に選択します。

メッセージを読む

待受画面で、インスタントメッセージサービスに接続された状態で現在の会話以外のメッセージを受信すると、「*New instant message*」が表示されます。それを読むには [Read] を選択します。複数のメッセージを受信している場合は、必要なメッセージにカーソルを移動し、[Open] を選択します。

現在の会話の間に受信した新しいメッセージは「*Instant messages*」にある「*Conversations*」に保持されます。「*IM contacts*」にない連絡先からメッセージを受信すると、送信者の ID が表示されます。電話メモリにない新しい連絡先を保存するには、[Options]、「*Save contact*」の順に選択します。

会話に参加する

インスタントメッセージセッションに参加またはそれを開始するには [Write] を選択します。次に、メッセージを作成し、「*Send*」を選択するか開始ボタンを押してメッセージを送信します。使用できるオプションを表示するには、[Options] を選択します。

参加状態を編集する

1. 「*Instant messages*」メニューを開き、インスタントメッセージサービスに接続します。
2. 参加状態の情報やスクリーン名を表示または編集するには、「*My settings*」を選択します。
3. オンラインになった後に、ご自身をすべてのインスタントメッセージユーザーに公開するには、「*Availability*」、「*Available for all*」の順に選択します。

   インスタントメッセージ連絡先リストにある連絡先だけに公開するには、「*Availability*」、「*Avail. for contacts*」の順に選択します。

   オフラインとするには、「*Availability*」、「*Appear offline*」の順に選択します。

インスタントメッセージサービスに接続されている場合、はオンラインであることを、はご自身が他の人から認識されていないことをそれぞれ表します。

インスタントメッセージの連絡先

インスタントメッセージ連絡先リストに連絡先を追加するには、インスタントメッセージサービスに接続し、「*IM contacts*」を選択します。リストに連絡先を 1 つだけ追加する場合は、[Options]、「*Add contact*」の順に選択するか、連絡先が全く追加されていない場合は [Add] を選択します。次に、「*Enter ID manually*」、「*Search from serv.*」、「*Copy from server*」、または「*By mobile number*」を選択します。

特定の連絡先にカーソルを移動して会話を開始するには、[Chat] を選択するか、または、[Options] から「*Contact info*」、「*Block contact*」(または「*Unblock contact*」)、「*Add contact*」、「*Remove contact*」、「*Change list*」、「*Copy to server*」または「*Availability alerts*」を選択します。

メッセージをブロックする / ブロック解除する

メッセージをブロックするには、インスタントメッセージサービスに接続し、「*Conversations*」、「*IM contacts*」の順に選択するか、会話に参加または会話を開始します。そして、着信メッセージをブロックしたい連絡先にカーソルを移動し、[Options] を押し「*Block contact*」、「*OK*」の順に選択します。

メッセージのブロックを解除するには、インスタントメッセージサービスに接続し、「*Blocked list*」を選択します。そして、メッセー

ジのブロックを解除したい連絡先にカーソルを移動し、「*Unblock*」を選択します。

グループ

インスタントメッセージによる会話を行う場合には、独自の非公開グループを作成することも、サービスプロバイダから提供された公開グループを使用することもできます。非公開グループは、インスタントメッセージによる会話が行われている間だけ存在します。そのグループは、サービスプロバイダのサーバーに保存されます。ログオンしているサーバーがグループサービスをサポートしていない場合は、グループ関連のすべてのメニューがグレー表示されます。

公開グループ

サービスプロバイダから提供されることがある公開 *Groups* をグループリストに入れることができます。公開グループに参加するには、インスタントメッセージサービスに接続し、「*Public groups*」を選択します。そして、チャットしたいグループにカーソルを移動し、[Join] を選択します。そのグループに初めて入る場合は、自身のニックネームとしてスクリーン名を入力します。グループリストからグループを削除するには、[Options]、「*Delete group*」の順に選択します。

グループを検索するには、「*Groups*」、「*Public groups*」、「*Search groups*」の順に選択します。グループを検索する際には、グループ内のメンバーや、グループ名、トピック、ID が使用できます。

非公開グループ

インスタントメッセージサービスに接続し、「*Groups*」、「*Create group*」の順に選択します。そして、グループの名前と、使用するスクリーン名を入力します。連絡先リストにある非公開グループの各メンバーにマークを付け、招待状を作成します。

■ E-mail アプリケーション

E-mail アプリケーションでは、会社や自宅の外から、互換性のある E-mail アカウントにアクセスできます。この E-mail アプリケーションは、SMS や MMS の E-mail 機能とは異なります。

本機は、POP3 と IMAP4 の E-mail サーバーをサポートします。

E-mail の送受信を行うには、あらかじめ次のことが必要です。

- 新しい E-mail アカウントを取得するか、既存のアカウントを使用します。自分用の E-mail アカウントがあるかどうかについては、ご契約されている E-mail サービスプロバイダにお問い合わせください。
- E-mail 用の設定については、ご契約されている E-mail サービスプロバイダにお問い合わせください。E-mail の設定値は、設定メッセージとして送られてくることがあります。「設定サービス」（P. xiii）を参照してください。設定を手動で入力すること

もできます。「構成の設定」（P. 45）を参照してください。

E-mail の設定値を有効にするには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*Message settings*」、「*E-mail messages*」の順に選択します。「E-mail」（P. 30）を参照してください。

このアプリケーションはキーパッドトーンはサポートしていません。

E-mail を作成し送信する

1. [Menu] を押し「*Messages*」、「*E-mail*」、「*Create e-mail*」の順に選択します。
2. [Edit] を選択し、送信先の E-mail アドレスと件名を入力します。
3. [Options]、「*Message editor*」の順に選択し、文字メッセージを入力します。
4. [Send]、「*Send now*」の順に選択します。

E-mail をダウンロードする

1. E-mail アプリケーションを使用するするには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*E-mail*」の順に選択します。
2. E-mail アカウントに送信されてきた E-mail メッセージをダウンロードするには「*Retrieve*」を選択します。

   新しい E-mail メッセージをダウンロードし、「*Outbox*」フォルダに保存されている E-mail を送信するには、[Options]、「*Retrieve and send*」の順に選択します。
3. 「*Inbox*」にある新しいメッセージを選択します。後で読む場合は [Back] を選択します。

   は未読のメッセージを表します。

E-mail を読み返信する

重要 : メッセージの開封は慎重に行ってください。E-mail のメッセージには、悪意をもったソフトウェアや、本機や PC にとって有害な内容が含まれていることがあります。

[Menu] を押し「*Messages*」、「*E-mail*」、「*Inbox*」の順に選択してから、読みたいメッセージを選択します。その間に [Options] を選択すれば、使用可能なオプションを表示できます。

E-mail に返信するには、[Reply]、「*Original text*」（または「*Empty screen*」）の順に選択します。多数の宛先に返信する場合は、[Options]、「*Reply to all*」の順に選択します。E-mail アドレスと件名を確認または編集してから返信文を入力します。メッセージを送信するには、[Send]、「*Send now*」の順に選択します。

受信ボックスとその他のフォルダ

E-mail アカウントからダウンロードした E-mail は「*Inbox*」フォルダに保存されます。「*Other folders*」フォルダには、未完成の E-mail を保存する「*Drafts*」や、E-mail の分類や保存を行う「*Archive*」、未送信の E-mail を保存する「*Outbox*」、送信済みの E-mail を保存する「*Sent items*」などがあります。

E-mail メッセージを削除する

E-mail を削除するには、[Menu] を押し「*Messages*」、「*E-mail*」、[Options]、「*Delete messages*」の順に選択します。フォルダのすべてのメッセージを削除するには、フォルダを選択してから [Yes] を選択します。すべてのフォルダからすべてのメッセージを削除する場合は、「*All messages*」を選択し、[Yes] を選択します。ただし、本機から E-mail を削除しても、E-mail サーバーから削除されるわけではありません。

■ 留守番電話サービス

留守番電話サービスは、契約が必要なネットワークサービスです。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

留守番電話サービスに電話するには、[Menu] 、「*Messages*」、「*Voice messages*」、「*Listen to voice messages*」の順に選択します。留守番電話サービスセンターの番号を入力、検索、または変更するには「*Voice mailbox number*」を選択します。

ネットワークが対応している場合は、留守番電話サービスセンターに新しいメッセージが保存されると ꝏ が表示されます。留守番電話サービスセンターの番号に電話をかけてメッセージを聞くには、[Listen] を選択します。

■ 情報メッセージ

[Menu] を押し「*Messages*」、「*Info messages*」の順に選択します。この情報メッセージネットワークサービスは、サービスプロバイダがさまざまな情報をメッセージで配信するサービスです。利用方法と配信情報については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

■ サービスコマンド

[Menu] を押して「*Messages*」、「*Service commands*」の順に選択します。ネットワークサービス開始コマンドなどのサービス要求（USSD コマンドとも呼びます）を入力し、ご契約されているサービスプロバイダに送信します。

■ メッセージを削除する

特定のフォルダにあるすべてのメッセージを削除するには、[Menu] を押して、「*Messages*」、「*Delete messages*」の順に選択します。メッセージを削除するフォルダも一緒に削除されます。「*Yes*」を選択します。フォルダに未読メッセージがある場合、未読メッセージも削除するかどうかを尋ねる表示が出ます。「*Yes*」をもう 1 回選択します。

■ メッセージの設定

文字メッセージと SMS E-mail

メッセージの設定によって、文字メッセージや SMS E-mail メッセージの送受信や表示方法が変わります。

[Menu] を押して「*Messages*」、「*Message settings*」、「*Text messages*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Sending profile*」- SIM カードが 1 つ以上のメッセージプロファイルセットに対応している場合は、変更したいプロファイルセットを選択します。選択可能なプロファイルセットは次のとおりです。

「*Message centre number*」（ご契約されているサービスプロバイダより提供されます）、「*Messages sent via*」、「*Message validity*」、「*Default recipient number*」（文字メッセージ）、または「*E-mail server*」（E-mail）、「*Delivery reports*」、「*Use GPRS*」、「*Reply via same centre*」（ネットワークサービス）、および「*Rename sending profile*」「*Save sent messages*」、「*Yes*」の順に選択 - 送信した文字メッセージが「*Sent items*」フォルダに保存されます。

マルチメディア

メッセージの設定によって、マルチメディアメッセージの送受信や表示方法が変わります。

[Menu] を押して「*Messages*」、「*Message settings*」、「*Multimedia msgs*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Save sent messages*」、「*Yes*」の順に選択 - 送信したマルチメディアメッセージが「*Sent items*」フォルダに保存されます。

「*Delivery reports*」 - 送信するメッセージの配信レポートをネットワークにリクエストすることができます（ネットワークサービス）。

「*Scale image down*」- マルチメディアメッセージに画像を挿入するときの画像サイズを設定できます。

「*Default slide timing*」- マルチメディアメッセージのスライドのデフォルト時間を設定します。

「*Allow multimedia reception*」、「*Yes*」（または「*No*」）の順に選択 - マルチメディアメッセージの受信を許可またはブロックします。「*In home network*」を選択した場合、ホームネットワーク外でマルチメディアメッセージを受信することはできません。

「*Incoming multimedia messages*」を選択し、「*Retrieve*」、「*Retrieve manually*」、または「*Reject*」- マルチメディアメッセージの受信を自動的に許可、確認メッセージの表示後に手動で許可、または、受信を拒否できます。

「*Configuration settings*」、「*Configuration*」の順に選択 - マルチメディアメッセージをサポートする設定のみが表示されます。サービスプロバイダを選択し、マルチメディアメッセージングに「*Default*」または「*Personal config.*」を選択します。「*Account*」を選択し、有効な設定に含まれるマルチメディアメッセージサービスのアカウントを選択します。

「*Allow adverts*」- 広告を受信または拒否できます。「*Allow multi-media reception*」が「*No*」に設定されている場合、この設定は表示されません。

E-mail

この設定によって、E-mail の送受信や表示方法が変わります。

E-mail アプリケーションの設定を設定メッセージとして受信することができます。「設定サービス」（P. xiii）を参照してください。設定を手動で入力することもできます。「構成の設定」（P. 45）を参照してください。

E-mail アプリケーションの設定を有効にするには、[Menu] を押して「*Messages*」、「*Message settings*」、「*E-mail messages*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Configuration*」- 有効にしたい設定のセットを選択します。

「*Account*」- サービスプロバイダから提供されたアカウントを選択します。

「*My name*」- 名前とニックネームを入力します。

「*E-mail address*」- メールアドレスを入力します。

「*Include signature*」- E-mail メッセージを作成するときに、メッセージの最後に自動的に追加される署名を設定できます。

「*Reply-to address*」- 返信の宛先に指定したいメールアドレスを入力します。

「*SMTP user name*」- 発信メールに使用したい名前を入力します。

「*SMTP password*」- 発信メールに使用したいパスワードを入力します。

「*Display terminal window*」- 「*Yes*」を選択すると、インターネット接続のためのユーザー認証を手動で実行します。

「*Incoming server type*」- 使用するE-mail システムタイプに応じて、「*POP3*」または「*IMAP4*」を選択します。両方のタイプをサポートする場合は、「*IMAP4*」を選択します。

「*Incoming mail settings*」- POP3 または IMAP4 で使用可能なオプションを選択します。

フォントサイズ

メッセージを読むときや作成するときに使用するフォントサイズを変更するには、[Menu] を押して「*Messages*」、「*Message settings*」、「*Other settings*」、「*Font size*」の順に選択します。

■ メッセージカウンタ

[Menu] を押して「*Messages*」、「*Message counter*」の順に選択すると、最近の通信についてほぼ正確な情報が表示されます。

7. 発着信履歴

履歴には、不在着信、着信、発信の電話番号や、通話にかかった通話時間と通話料金の概算が記録されます。

ネットワークがこの機能に対応しており、かつネットワークのサービスエリア内で本機の電源が入っている場合のみ記録されます。

■ 通話履歴

「*Missed calls*」、「*Received calls*」、または「*Dialled numbers*」メニューで、[Options] を押すと、通話時間の表示、履歴にある電話番号の変更、表示、履歴から電話をかける、電話番号を連絡先に追加、履歴から削除するオプションが表示されます。また、テキストメッセージを送信することもできます。通話履歴を削除するには、「*Clear recent call lists*」を選択します。

■ 通話料金と通話時間

注意：サービスプロバイダが実際に請求する通話およびネットワークサービス料金は、ネットワーク機能、請求額の端数計算や税金などによって異なる場合があります。

ライフタイマーなど、一部のタイマーは、サービスやソフトウェアのアップグレード時にリセットされることがあります。

[Menu] を押して「*Call register*」を選択し、「*Call duration*」、「*Packet data counter*」、または「*Packet data connection timer*」を選択すると、最近の通話についてほぼ正確な情報が表示されます。

■ 位置情報

一部のネットワークでは、位置情報を要求できます（ネットワークサービス）。「*Positioning*」を選択すると、要求を受信したネットワーク事業者からの位置情報を表示できます。位置情報配信のお申し込みおよび同意については、ネットワーク事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

[Menu] を押して「*Call register*」、「*Positioning*」、「*Position log*」の順に選択すると、受信した位置情報要求リストが表示されます。

8. 連絡先

名前や電話番号(*Contacts*)を本体のメモリとSIMカードのメモリに登録できます。

本体の連絡先には、電話番号とその他の情報を登録できます。また、特定の電話番号に画像を登録することもできます。

SIMカードに保存されている名前や電話番号は、アイコン「 」で表示されます。

■ 連絡先を検索する

[Menu]を押して「*Contacts*」、「*Search*」の順に選択します。連絡先リストをスクロールするか、検索しようとする名前の先頭文字を入力します。

■ 名前と電話番号を保存する

名前と電話番号は、使用中のメモリに保存されます。[Menu]を押して「*Contacts*」、「*Add new contact*」の順に選択します。名前と電話番号を入力します。

■ 電話番号、アイテム、または画像を保存する

本体の連絡先のメモリには、複数の電話番号や短いテキストを名前と一緒に登録することができます。

最初に登録した電話番号は、自動的に基本番号に設定され、番号タイプのアイコン(例、)が枠で囲まれて表示されます。電話をかけるときなどに名前を選択すると、他の番号を選択しない限りは、基本番号が使用されます。

1. 使用しているメモリが「*Phone*」または「*Phone and SIM*」のいずれかであることを確認します。
2. 新しい番号や文字アイテムを追加したい名前をスクロールキーで選択し、[Details]を押して[Options]を選択します。
3. 電話番号を追加するには、「*Add number*」を選択し、番号タイプを選択します。

選択した電話番号を基本番号に設定するには、「*Set as default*」を選択します。

番号タイプを変更するには、使用したい番号をスクロールキーで選択し、[Options]を押して「*Change type*」を選択します。

詳細情報を追加するには、「*Add detail*」を選択し、詳細情報のタイプを選択します。

画像を追加するには、「*Add image*」を選択し、「*Gallery*」から画像を選択します。

プレゼンスサービスに接続している場合に、サービスプロバイダのサーバーからIDを検索するには、「*User ID*」、「*Search*」の順に選択します。「マイプレゼンス」(P. 35)を参照してください。IDが1つしか見つからない場合、そのIDが自動的に保存されます。複数のIDが見つかった場合にそのIDを保存するには、[Options]を押して「*Save*」を選択します。IDを入力するには、「*Enter ID manually*」を選択します。

■ 連絡先をコピーする

コピーしたい連絡先を検索し、「*Contacts*」、「*Copy*」の順に選択します。本体の連絡先メモリからSIMカードのメモリに、またはSIMカードのメモリから本機のメモリに、名前と電話番号をコピーできます。SIMカードのメモリには、名前とともに1つの電話番号を保存できます。

■ 連絡先の詳細情報を編集する

1. 編集したい連絡先を検索して[Details]を選択し、使用したい名前、電話番号、文字アイテム、または画像をスクロールキーで選択します。
2. 名前、電話番号、または文字アイテムを編集するには、[Options]を押して、「*Edit name*」、「*Edit number*」、または「*Edit detail*」を選択し、画像を変更するには、「*Change image*」を選択します。

   「*IM contacts*」または「*Subscribed names*」リストに含まれているIDは編集できません。

■ 連絡先や連絡先の詳細を削除する

特定の連絡先を削除するには、削除したい連絡先を検索して[Options]を押して「*Delete*」を選択します。

連絡先に登録されている電話番号、文字アイテム、または画像を削除するには、その連絡先の詳細情報を選択して[Options]を選択し、「*Delete number*」、「*Delete detail*」、または「*Delete image*」を選択します。画像を連絡先から削除しても、「*Gallery*」からは削除されません。

すべての連絡先と連絡先に登録されている詳細情報を本機またはSIMカードのメモリから削除するには、[Menu]を押して「*Contacts*」、「*Delete*」の順に選択します。次に「*One by one*」または「*Delete all*」を選択し、「*From phone mem.*」または「*From SIM card*」を選択します。セキュリティコードを入力して、実行を確認します。

■ ビジネスカード

vCard 形式に対応した互換性のある機器から、個人の連絡先情報をビジネスカードとして送受信できます。

ビジネスカードを送信するには、情報を送信したい相手の連絡先を検索し、[Options] を押して「*Send bus. card*」を選択し、「*Via multimedia*」または「*Via text message*」を選択します。

ビジネスカードを受信したときは、[Show]、[Save] の順に選択すると、本機のメモリにそのビジネスカードを保存できます。ビジネスカードを破棄するには、[Exit]、[Yes] の順に選択します。

■ マイプレゼンス

プレゼンスサービス（ネットワークサービス）を使用すると、互換性のある端末を所有し、このサービスのアクセス権限を持つ他の利用者と、自分のステータス情報を共有することができます。プレゼンスのステータスには、利用状況、ステータスメッセージ、パーソナルロゴが表示されます。プレゼンスサービスにアクセスできる他の利用者が、自分のステータス情報を見ることができます。要求された情報は、情報を見る利用者の「*Contacts*」メニューの「*Subscribed names*」に表示されます。他の利用者と共有したい情報を個人用に設定し、自分のステータスを確認できる利用者を制御することができます。

サービスを使用する前に、プレゼンスサービスに登録する必要があります。サービスが利用可能かどうか、サービス利用料金、サービスの登録方法については、ネットワーク事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。サービスのご利用に必要な固有の ID やパスワードと設定情報も、これらの契約先から入手できます。「構成の設定」（P. 45）を参照してください。

プレゼンスサービスに接続中、電話機の他の機能を使用できます。その場合、プレゼンスサービスはバックグラウンドで機能します。プレゼンスサービスとの接続を停止した場合、サービスプロバイダによっては、一定時間、プレゼンスステータスが情報閲覧者に表示されます。

[Menu] を押して「*Contacts*」、「*My presence*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Connect to 'My presence' service*」または「*Disconnect from service*」- このサービスに接続またはサービスから切断します。

「*View my presence*」-「*Private pres.*」や「*Public presence*」にステータスを表示します。

「*Edit my presence*」- 自分のプレゼンスステータスを変更できます。「*My availability*」、「*My presence message*」、「*My presence logo*」、または「*Show to*」を選択します。

「My viewers」を選択し、「Current viewers」、「Private list」、または「Blocked list」を選択します。

「Settings」を選択し、「Show current presence in idle」、「Synchronise with profiles」、「Connection type」、または「Presence settings」を選択します。

■ 登録者名

プレゼンスステータス情報を確認したい人の連絡先リストを作成できます。連絡先またはネットワークで許可されている場合、この情報を確認できます。登録者名を表示するには、連絡先をスクロールキーで選択するか、「Subscribed names」メニューを使用します。

使用しているメモリが「Phone」または「Phone and SIM」のいずれかであることを確認します。

プレゼンスサービスに接続するには、[Menu] を押して「Contacts」、「My presence」、「Connect to 'My presence' service」の順に選択します。

登録者名に連絡先を追加する

1. [Menu] を押して「Contacts」、「Subscribed name」の順に選択します。
2. リストに連絡先が 1 つもない場合、[Add] を選択します。リストに連絡先が含まれている場合は、[Options] を押して「Subscribe new」を選択します。連絡先リストが表示されます。
3. リストから連絡先を 1 つ選択し、連絡先にユーザー ID が保存されている場合、その連絡先が登録者リストに追加されます。

登録者名を表示する

プレゼンス情報を表示するには、「連絡先を検索する」(P. 33) を参照してください。

1. [Menu] を押して「Contacts」、「Subscribed name」の順に選択します。

   登録者リストの先頭にある連絡先のステータス情報が表示されます。他の利用者に提供する情報には、テキストと次のアイコンを含めることができます。

   、、 は、それぞれその人が応答可能 (available)、公共の場所で応答 (discreet)、応答不可 (not available) のステータスを示します。

   は、相手のプレゼンス情報が入手不能であることを示します。

2. 選択した連絡先の詳細情報を表示するには、[Details] を選択します。または、[Options] を押してから、「Subscribe new」、「Chat」、「Send message」、「Send bus. card」、または「Unsubscribe」を選択します。

連絡先を登録解除する

「*Contacts*」リストから特定の連絡先の登録を解除するには、その連絡先を選択して [Details]、ユーザー ID、[Options]、「*Unsubscribe*」、[OK] の順に選択します。

登録を解除するには、[Subscribed names] メニューを使用します。「登録者名を表示する」（P. 36）を参照してください。

■ 設定

[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Memory in use*」- 連絡先の登録先として SIM カードまたは本機のメモリを選択します。

「*Contacts view*」- 連絡先の名前や電話番号の表示方法を選択できます。

「*Memory status*」- メモリの空き容量と使用量が表示されます。

■ ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルボタンに電話番号を登録するには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Speed dials*」の順に選択します。次に、登録したいワンタッチダイヤルの番号をスクロールキーで選択し、

「*Assign*」を選択します。ボタンに電話番号がすでに登録されている場合は、[Options] を押して「*Change*」を選択します。[Search] を選択して、登録したい名前と電話番号を順に選択します。「*Speed dialling*」機能がオフの場合、この機能を有効にするかどうかを尋ねる表示が出ます。「*Speed dialing*」（「発着信の設定」P. 42）も参照してください。

ワンタッチダイヤルキーを使用した電話のかけ方については、「ワンタッチダイヤル」（P. 11）を参照してください。

■ 音声ダイヤル

電話番号に追加された音声の単語（ボイスタグ）を話すことにより、電話をかけることができます。名前など、あらゆる単語をボイスタグとして使用できます。作成できるボイスタグの数には制限があります。

ボイスタグを使用する前に、次の点にご注意ください。

- ボイスタグは言語依存型ではなく、話し手の音声に依存します。
- 録音したときとまったく同じように、名前を話す必要があります。
- ボイスタグには、背景のノイズも影響します。ボイスタグを録音して使用するときには、静かなところで行ってください。
- 短すぎる名前は受け付けられません。長い名前を使用し、異なる番号に類似した名前を使用するのは避けます。

注意：ボイスタグを雑音のある場所で使用したり、緊急時に使用するのは困難な場合がありますので、音声ダイヤルにだけ頼らないようにしてください。

ボイスタグを追加し、管理する

ボイスタグを追加したい連絡先を、本体のメモリに保存またはコピーします。SIM カードに登録された名前にもボイスタグを追加できますが、SIM カードを新しいものに交換した場合、最初に古いボイスタグを削除してから新しいタグを追加する必要があります。

1. ボイスタグを追加したい連絡先を検索します。
2. [Details] を選択し、登録したい電話番号をスクロールキーで選択し、[Options] を押して「*Add voice tag*」の順に選択します。
3. [Start] を選択して、登録したい単語をはっきり話し、ボイスタグを録音します。録音終了後、録音されたボイスタグが再生されます。

   「*Contacts*」では、ボイスタグが登録された電話番号に「 」アイコンが表示されます。

ボイスタグを確認するには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Voice tags*」の順に選択します。確認したい、ボイスタグの登録された連絡先をスクロールキーで選択し、録音されたボイスタグを試聴、削除、または変更するオプションを選択します。

ボイスタグを使用して電話をかける

本機で GPRS 接続を使用してデータを送受信するアプリケーションを実行している場合、音声ダイヤルを使用する前にそのアプリケーションを終了する必要があります。

1. 待受画面で、右選択キーを長押しします。呼び出し音が短く鳴り、「*Speak now*」と表示されます。
2. ボイスタグをはっきりと話します。録音されたボイスタグが再生され、1.5 秒後にそのボイスタグの電話番号にダイヤルします。

ヘッドセットキー付きのヘッドセットを使用している場合、ヘッドセットキーを長押しすると、音声ダイヤルを開始できます。

■ サービス番号

ご契約されているサービスプロバイダのサービスナンバーが SIM カードに登録されている場合があります。このメニューは、SIM カードがこの機能に対応している場合のみ表示されます。

■ 自分の電話番号

SIM カードに自分の電話番号が登録されている場合にその電話番号を確認するには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*My numbers*」の順に選択します。

■ Caller グループ

メモリに保存されている名前と電話番号をグループに分けるには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Caller groups*」の順に選択します。グループ別に異なる着信音とグループ画像を設定できます。

9. 設定

■ プロファイル

本機には「プロファイル」と呼ばれるモードの設定グループがあり、携帯電話の着信音などを状況や環境に合わせて自由に設定することができます。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Profiles*」の順に選択し、特定のプロファイルを選択します。

選択したプロファイルを有効にするには、「*Activate*」を選択します。

プロファイルを個人用に調整するには、「*Personalise*」を選択します。変更したい設定を選択し、変更を加えます。プレゼンス情報を変更するには、「*My presence*」を選択し、「*My availability*」または「*My presence message*」を選択します。「*Synchronise with profiles*」が「*On*」に設定されている場合は、「*My presence*」メニューを使用できます。「マイプレゼンス」（P. 35）を参照してください。

選択したモードを設定した時刻（24 時間以内）まで使用することができます。「*Timed*」を選択し、終了時刻を入力します。終了時刻になると、以前に使用していたモードに自動的に戻ります。

■ テーマ

テーマには、壁紙、スクリーンセーバー、配色、着信音など、電話機を個人用に調整する多数の要素が含まれています。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Themes*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Select theme*」- 本機にテーマを設定できます。「*Gallery*」に含まれるフォルダのリストが表示されます。「*Themes*」フォルダを開き、テーマを選択します。

「*Theme downloads*」- 追加のテーマをダウンロードできるリンク先のリストが表示されます。「ファイルをダウンロードする」（P. 64）を参照してください。

■ 音の設定

選択した有効なプロファイルの設定を変更することができます。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Tone settings*」の順に選択します。「*Incoming call alert*」（着信音）、「*Ringing tone*」（呼び出し音）、「*Ringing volume*」（呼び出し音量）、「*Vibrating alert*」（バイブレータ）、「*Message alert tone*」（メッセージ受信音）、「*Instant message alert tone*」（インスタントメッセージ受信音）、「*Keypad tones*」（キーパッド音）、「*Warning tones*」（警告音）

を設定できます。「*Profiles*」メニューにも同じ設定があります。「プロファイル」(P. 40) を参照してください。

特定のグループに登録されている電話番号から電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らすには、「*Alert for*」を選択します。この機能を設定するグループをスクロールキーで選択するか、「*All calls*」を選択して、[Mark] を選択します。

■ 画面の明るさの設定

電話機の機能に応じて、画面の明るさを選択できます。[Menu] を押して「*Settings*」、「*Light settings*」、「*Light effects*」の順に選択し、照明効果をオンまたはオフに設定します。

■ 個人用ショートカット

個人用ショートカットを使用すると、頻繁に使用する電話機の機能にすばやくアクセスできます。ショートカットを管理するには、[Menu] を押して「*Settings*」、「*Personal shortcuts*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Right selection key*」- リストから機能を選択して、右選択キーに登録できます。「待受モード」(P. 8) も参照してください。このメニューは、サービスプロバイダによっては表示されない場合があります。

「*Voice commands*」- ボイスタグを話すことによって、電話機の機能を起動させることができます。フォルダを選択し、ボイスタグに追加したい機能をスクロールキーで選択して [Add] を選択します。 はボイスタグを示します。ボイスコマンドを追加するには、「ボイスタグを追加し、管理する」(P. 38) を参照してください。ボイスコマンドを起動するには、「ボイスタグを使用して電話をかける」(P. 38) を参照してください。

■ 画面の設定

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Display settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Wallpaper*」、「*On*」の順に選択 - 待受画面のときに表示する背景画像を追加できます。壁紙を選択するには、「*Select wallpaper*」を選択し、「*Gallery*」から画像を選択します。他の画像をダウンロードするには、「*Graphic downloads*」を選択します。

「*Screen saver*」、「*On*」の順に選択 - スクリーンセーバーが適用されます。スクリーンセーバーが起動されるまでの時間を設定するには、「*Time-out*」を選択します。スクリーンセーバーに使用するグラフィックを選択するには、「*Image*」を選択し、「*Gallery*」から画像を選択します。他の画像をダウンロードするには、「*Graphic downloads*」を選択します。

「*Colour schemes*」- 特定の画面要素（メニューの背景色、電波の強さや電池残量を示すバーの色など）の配色を変更できます。

「*Menu view*」- メインメニューの表示方法を設定できます。

「*Operator logo*」- 携帯電話事業者のロゴを表示または非表示にできます。携帯電話事業者のロゴが保存されていない場合、このメニューはグレー表示になります。携帯電話事業者のロゴの詳細については、ネットワーク事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

■ 日時の設定

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Time and date settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Clock*」- 待受画面に時計を表示し、時刻を調整し、タイムゾーンと時刻の表示形式を選択します。

「*Date*」- 待受画面に日付を表示し、日付を設定し、日付の表示形式と区切り文字を選択します。

「*Auto-update of date & time*」（ネットワークサービス）- 現在地のタイムゾーンによって日時が自動的に更新されます。

■ 発着信の設定

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Call settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Automatic volume control*」- スピーカーの音量を背景ノイズに応じて自動的に調整します。

「*Call divert*」（ネットワークサービス）- 着信した電話を転送できます。なんらかの通話禁止機能が有効になっている場合、着信した電話を転送できない場合があります。「セキュリティ」の「*Call barring service*」（P. 46）を参照してください。

「*Anykey answer*」、「*On*」の順に選択 - 任意のキーを押して、かかってきた電話に応答することができます。ただし、終了キー、左選択キー、右選択キーでは応答できません。

「*Automatic redial*」、「*On*」の順に選択 - かけた電話が相手につながらないときに、最大 10 回までリダイヤルします。

「*Speed dialling*」、「*On*」の順に選択 - ワンタッチダイヤルを有効にします。ワンタッチダイヤルの設定方法については、「ワンタッチダイヤル」（P. 37）を参照してください。電話をかけるには、ワンタッチダイヤルに割り当てられた番号キーを長く押します。

「*Call waiting*」、「*Activate*」の順に選択 - 通話中に別の電話がかかってきたときにネットワークから通知されます（ネットワークサービス）。「割込通話」（P. 11）を参照してください。

「*Summary after call*」、「*On*」の順に選択 - 通話終了後にその通話にかかったおおよその時間と料金が、

画面に短時間表示されます（ネットワークサービス）。

「*Send my caller ID*」（ネットワークサービス）を選択し、「*Yes*」、「*No*」、または「*Set by network*」を選択します。

「*Line for outgoing calls*」（ネットワークサービス）- SIM カードがこの機能に対応している場合、発信時に使用する回線 1 または回線 2 を選択できます。

■ 電話機の設定

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Phone settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Phone language*」- 画面の表示言語を設定できます。「*Automatic*」を選択すると、SIM カードの情報に従って言語が自動的に選択されます。

「*Memory status*」- 「*Gallery*」と「*Messages*」のメモリの空き容量と使用量を確認できます。

「*Automatic keyguard*」- 本機の表示が待受画面で、いずれの機能も使用されていない場合、事前に設定した一定時間の経過後に電話機のキーパッドが自動的にロックされます。「*On*」を選択し、5 秒 ~ 60 分の間で時間を設定します。

「*Cell info display*」、「*On*」の順に選択 - 使用しているネットワークセルの情報をネットワーク事業者から受信できます（ネットワークサービス）。

「*Welcome note*」- 本機の電源を入れたときに画面に短時間表示されるメッセージを入力します。

「*Operator selection*」、「*Automatic*」の順に選択 - 現在のエリアで利用可能な携帯電話ネットワークを自動的に選択します。「*Manual*」に設定する場合は、ホームネットワークの携帯電話事業者とローミング契約を結んでいるネットワークを選択できます。

「*Confirm SIM service actions*」- 「SIM サービス」（P. 68）を参照してください。

「*Help text activation*」- ヘルプテキストを表示するかどうかを選択できます。

「*Start-up tone*」- 本機の電源を入れたときにウェイクアップ音を鳴らすか鳴らさないかを設定できます。

■ 接続

パケットデータのダイヤルアップ接続のための設定を指定できます。

パケットデータ（EGPRS）

EGPRS（Enhanced General Packet Radio Service）、すなわち、パケットデータとは、携帯電話機で IP（インターネットプロトコル）ネットワークを介してデータを送受信できるようにするネットワークサービスです。このサービスによって、インターネットなどのデータネットワークへの無線アクセスが可能になります。

パケットデータを使用可能なアプリケーションには、MMS、ブラウジングセッション、E-mail、リモート SyncML、Java アプリケーション

ダウンロード、PCダイヤルアップがあります。

パケットデータサービスの使用について設定するには、[Menu] を押して「*Settings*」、「*Connectivity*」、「*Packet data*」、「*Packet data connection*」の順に選択します。

「*When needed*」を選択すると、アプリケーションで必要になったときにパケットデータ接続が確立されます。アプリケーションを終了すると、サービスが切断されます。

「*Always online*」を選択すると、本機の電源を入れたときにパケットデータネットワークに自動的に接続します。

G はパケットデータ接続を示すアイコンです。

モデムの設定

データケーブル接続を使用して本機を互換性のある PC に接続し、本機をモデムとして使用して PC からパケットデータに接続することができます。

PC から接続の設定を行うには、[Menu] を押して「*Settings*」、「*Connectivity*」、「*Packet data*」、「*Packet data settings*」、「*Active access point*」の順に選択します。使用したいアクセスポイントを有効にし、「*Edit active access point*」を選択します。「*Alias for access point*」を選択し、現在選択されているアクセスポイントの略称を入力します。「*Packet data access point*」を選択し、EGPRS ネットワークへの接続を確立するためのアクセスポイント名（APN）を入力します。

PC のダイヤルアップサービスへの設定（アクセスポイント名）も、Nokia Modem Options ソフトウェアを使用して設定できます。「PC Suite」（P. 69）を参照してください。PC と電話機の両方で設定を行った場合、PC の設定が使用されます。

■ アクセサリの設定

このメニューは、お使いの電話機に対応する携帯電話機アクセサリが接続されている場合にのみ表示されます。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Enhancement settings*」の順に選択します。該当するアクセサリが電話機に接続されている場合に、アクセサリメニューを選択できます。使用するアクセサリに応じて、次のオプションの中から選択します。

「*Default profile*」- 選択したアクセサリに接続したときに自動的に起動させるプロファイルを選択します。

「*Automatic answer*」- 電話が着信した場合に、5 秒後に自動的に応答するよう設定できます。「*Incoming call alert*」を「*Beep once*」または「*Off*」に設定した場合、自動応答はオフになります。

注意：自動応答は、「General」プロファイルが選択されているときのみ使用できます。

「*Lights*」- 照明を常に点灯しておく場合は、「*On*」に設定します。「*Automatic*」を選択すると、キーやボタンを押してから約15秒間、照明が点灯します。

「*Ignition detector*」、「*On*」の順に選択 - 本機が車載キットに接続されている場合、車のエンジンを切ってから約20秒後に、本機の電源が自動的にオフになります。

■ 構成の設定

特定のサービスを正しく機能させるために、電話機を設定することができます。対象となる機能は、ブラウザ、マルチメディアメッセージング、インターネットサーバーとのリモート同期、プレゼンス、および E-mail アプリケーションです。SIM カードからデータを取り込むか、サービスプロバイダから設定メッセージとして入手するか、または、個人用設定を手動で入力します。電話機には、サービスプロバイダの設定を最大20種類保存でき、このメニューを使用してそれらの設定を管理できます。

サービスプロバイダから設定メッセージとして受信した設定を保存するには、「設定サービス」(P. xiii)を参照してください。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Configuration settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Default configuration settings*」- 電話機に保存されているサービスプロバイダが表示されます。スクロールキーでサービスプロバイダを選択して [Details] を選択すると、このサービスプロバイダの設定が対応しているアプリケーションが表示されます。サービスプロバイダの設定を標準の設定にするには、[Options] を押して「*Set as default*」を選択します。設定を削除するには、「*Delete*」を選択します。

「*Activate default in all applications*」- 対応するアプリケーションで標準の設定を有効にします。

「*Preferred access point*」- 保存されているアクセスポイントが表示されます。アクセスポイントをスクロールキーで選択し、[Options] を押して「*Details*」を選択すると、サービスプロバイダ名、データベアラ、パケットデータのアクセスポイント、または GSM ダイヤルアップ用電話番号が表示されます。

「*Personal configuration settings*」- 多様なサービスの新規の個人アカウントを手動で追加したり、アカウントを有効にしたり、削除したりすることができます。既存のアカウントがない場合に新規の個人アカウントを追加するには、[Add new] を選択します。アカウントがすでに存在する場合は、[Options] を押して「*Add new*」を選択します。サービスのタイプを選択し、

必要なパラメータを選択して入力します。パラメータは、選択するサービスタイプによって異なります。個人アカウントを削除または有効にするには、そのアカウントをスクロールキーで選択し、[Options] を押して「*Delete*」または「*Activate*」を選択します。

■ セキュリティ

通話制限（「call barring」、「closed user group」、「fixed dialing」）のセキュリティ機能が使用されている場合でも、本機にプログラムされている公式の緊急電話番号に電話をかけることができます。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Security settings*」の順に選択します。

「*PIN code request*」- 本機の電源を入れたときに PIN コードまたは UPIN コードの入力が必要になるよう設定します。一部の SIM カードでは、この機能の解除を禁止しています。

「*Call baring service*」(ネットワークサービス) - 電話の発着信を制限します。この機能の設定には、パスワードが必要です。

「*Fixed dialling*」- SIM カードがこの機能に対応している場合、電話の発信を、選択した電話番号だけに制限することができます。

「*Closed user group*」(ネットワークサービス) - 特定のグループの人を電話の発着信の相手に指定できます。

「*Security level*」、「*Phone*」の順に選択 - 新しい SIM カードが本機にセットされた場合、セキュリティコードの入力が必要になります。「*Memory*」を選択すると、使用するメモリを SIM カードから本体に変更するときにセキュリティコードの入力が必要になります。

「*Access codes*」- セキュリティコード、PIN コード、UPIN コード、PIN2 コード、および発着信規制パスワードを変更します。

「*Code in use*」- PIN コードと UPIN コードのどちらを有効にするかを選択します。

「*Pin2 code request*」- PIN2 コードの対象となる特定の電話機能を使用する際に PIN2 コードが必要かどうかを選択します。

■ 初期設定に戻す

メニューの設定をお買い上げの際の設定にリセットするには、[Menu] を押して「*Settings*」、「*Restore factory settings*」の順に選択します。セキュリティコードを入力します。「*Contacts*」に登録されている名前や電話番号など、お客様が入力またはダウンロードしたデータは削除されません。

10. オペレータメニュー

このメニューから、ネットワーク事業者の提供するサービスのポータルサイトにアクセスできます。メニュー名やアイコンは、事業者ごとに異なります。詳細については、ネットワーク事業者にお問い合わせください。

事業者は、サービスメッセージを通知してこのメニューをアップデートすることがあります。詳細については、「サービス受信ボックス」（P. 64）を参照してください。

11. ギャラリー

このメニューでは、グラフィックス、画像、録音、ビデオクリップ、テーマ、音を管理できます。これらのデータファイルがフォルダに整理されます。

本機では、取得したコンテンツを保護するために、起動キーシステムをサポートしています。コンテンツには料金が課せられる場合があるので、取得する前にコンテンツの配布条件と起動キーについて必ず確認する必要があります。

著作権保護により、一部の画像、音楽（着信音を含む）、その他のコンテンツはコピー、改ざん、譲渡、または転送が禁止されている場合があります。

フォルダのリストを表示するには、[Menu] を押して「*Gellery*」を選択します。

利用可能なフォルダオプションを表示するには、フォルダを選択して [Options] を押します。

特定のフォルダのファイルリストを表示するには、フォルダを選択して [Open] を押します。

利用可能なファイルオプションを表示するには、ファイルを選択して [Options] を押します。

12. メディア

著作権保護により、一部の画像、音楽（着信音を含む）、その他のコンテンツはコピー、改ざん、譲渡、または転送が禁止されている場合があります。

■ カメラ

本機内蔵カメラで、写真を撮ったり、ビデオクリップを録画することができます。このカメラでは、JPEG 形式の画像と 3GP 形式のビデオクリップが生成されます。

画像やビデオクリップを撮影または録画して使用する際には、すべての法律を順守し、その地域の慣習や他人のプライバシーおよび法的権利を尊重してください。

本機でサポートされる画像キャプチャ解像度は 640 x 480 ピクセルです。画像の解像度は、素材によって違って見える場合があります。

写真撮影

[Menu] を押して「*Media*」、「*Camera*」、「Capture」の順に選択します。撮影した写真は、本機の「*Gallery*」の「*Images*」に保存されます。別の写真を撮影するには、[Back] を選択します。撮影した写真をマルチメディアメッセージとして送信するには、[Send] を選択します。オプションを表示するには、[Options] を押します。カメラモードを変更するには、左右のナビゲーションキーを使用します。

ビデオクリップを録画する

[Menu] を押して「*Media*」、「*Camera*」の順に選択します。ビデオモードを選択するには、左右にスクロールして [Record] を選択します。録画を停止するには、[Pause] を選択し、録画を再開するときは、[Continue] を選択します。録画を停止するには、[Stop] を選択します。録画したビデオクリップを見るには、[Play] を選択します。オプションを表示するには、[Options] を押します。録画したビデオクリップは、本機の「*Gallery*」の「*Video clips*」に保存されます。

■ レコーダー

音声、サウンド、または通話中の会話を 5 分間録音することができます。

データコールやパケットデータ接続中にレコーダーを使用することはできません。

録音する

1. [Menu] を押して「*Media*」、「*Voice recorder*」の順に選択します。

2. 録音を開始するには、[*Record*] を押します。通話中に録音を開始するには、[Options] を押して「*Record*」を選択します。通話の録音中、通話に加わっているすべての人に 5 秒おきにビープ音が聞こえます。
3. 録音を停止するには、[Stop] を選択します。録音した音声は、「*Gallery* 」メニューの「*Recordings* 」フォルダに保存されます。

録音後のオプション

[*Menu*] を押して「*Media*」、「*Voice recorder*」、「*Recordings list*」の順に選択します。「*Gallery*」に含まれるフォルダのリストが表示されます。「*Recordings*」を開くと、録音した音声のリストが表示されます。[Options] を押すと、「*Gallery*」内のファイルに対するオプションを選択できます。「ギャラリー」(P. 48)を参照してください。

一番新しい録音を聞くには、「*Play last recorded*」を選択します。

一番新しい録音を送信するには、「*Send last recorded*」を選択します。録音は MMS を使用して送信できます。

13. オーガナイザー

■ アラーム

設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Alarm clock*」の順に選択します。

アラームを設定するには、「*Alarm time*」を選択してアラーム時刻を入力します。アラーム時刻を変更するには、アラーム時刻を変更後に「*On*」を選択します。指定した曜日にアラームを鳴らすには、「*Repeat alarm*」を選択します。アラーム音を選択するには、「*Alarm tone*」を選択します。スヌーズタイムアウト（後で再び鳴る）を設定するには、「*Snooze time-out*」を選択します。

アラームを停止する

本機の電源がオフのときでも、アラーム音は鳴り、画面に「*Alarm!*」という文字と現在時刻が点滅表示されます。アラームを停止するには、[Stop] を選択します。アラームを 1 分間鳴らし続けるか、または [Snooze] を押すと、アラームが止まり、事前に設定したスヌーズ時間の経過後に再びアラームが鳴ります。

本機の電源を切っているときにアラーム時刻になった場合は、自動的に電源が入り、アラーム音が鳴り始めます。[Stop] を選択すると、電話の発着信ができる状態にするかどうかを尋ねる表示が出ます。[No] を選択すると電源が切れ、[Yes] を選択すると、電話の発着信ができる状態になります。携帯電話の使用により電波干渉や危険が生じるおそれのあるときは、[Yes] を選択しないでください。

■ カレンダー

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Calendar*」の順に選択します。

今日の日付は枠で囲まれて表示されます。カレンダーノートが保存されている日付は、太字で表示されます。カレンダーノートを表示するには、[View] を選択します。週単位で表示するには、[Options] を押して「*Week view*」を選択します。カレンダーに保存されているすべてのノートを削除するには、月または週単位の表示を選択し、[Options] を押して「*Delete all notes*」を選択します。

日付ごとの表示で使用できるその他のオプションは、「*Make a note*」、ノートの「*Delete*」、「*Edit*」、「*Move*」、または「*Repeat*」、ノートを他の日付に「*Copy*」、ノートを文字メッセージ、マルチメディアメッセージ、または互換性のある他の電話機のカレンダーに「*Send note*」などがあります。「*Settings*」では、日付と時刻を設定できます。「*Auto-delete notes*」を使用すると、一定

時間が経過したノートを自動的に削除できます。

カレンダーノートを作成する

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Calendar*」の順に選択します。スクロールキーで日付を選択して [Options] を押し、「*Make a note*」を選択します。カレンダーノートのタイプを次の中から選択します。「*Meeting*」、「*Call*」、「*Birthday*」、「*Memo*」、または「*Reminder*」。

アラームの時刻になると

アラーム音が鳴り、カレンダーノートが表示されます。Call タイプのノート の場合、開始ボタンを押すだけで、表示された番号に電話がかかります。アラームを止めてカレンダーノートを確認するには、[View] を選択します。[Snooze] を選択すると、アラーム音は約 10 分間後に再び鳴ります。カレンダーノートを確認せずにアラームを止めるときは、[Exit] を選択します。

■ 予定表

やらなければならない仕事のノートを保存するには、[Menu] を押して「*Organiser*」、「*To-do list*」の順に選択します。

ノートが 1 つも保存されていない場合にノートを作成するには、[Add note] を選択します。すでに保存されたノートがある場合は、[Options] を押して「*Add*」を選択します。ノートを入力し、[Save] を選択します。ノートの優先度、期日、およびアラームタイプを選択します。

ノートを確認するには、スクロールキーでそれを選択して [View] を選択します。

選択したノートを削除するオプションや、完了（done）のマークを付けたノートをすべて削除するオプションも選択できます。ノートを優先度順または期日順に並べ替えたり、他の電話機に文字メッセージまたはマルチメディアメッセージとしてノートを送信したり、カレンダーノートとしてノートを保存したり、また、カレンダーにアクセスするなどの機能があります。

ノートの表示中にも、ノートの優先度や期日を編集したり、ノートに完了（done）のマークを付けるオプションを選択できます。

■ ノート

このアプリケーションを使用してノートを作成して送信するには、[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Notes*」の順に選択します。ノートが 1 つも保存されていない場合にノートを作成するには、[Add note] を選択します。すでに保存されたノートがある場合は、[Options] を押して「*Make a note*」を選択します。ノートを入力し、[*Save*] を選択します。

その他のオプションには、ノートの削除と編集があります。ノートの編集中、変更を保存せずにテキストエディターを終了することもできます。文字メッセージまたはマルチメディアメッセージを使用して、互換性のある機器にノートを送信することができます。文字メッセージとして送信するにはノートが長すぎる場合、超過する文字数をノートから削除するかどうかを尋ねる表示が出ます。

■ 同期

カレンダーや連絡先のデータを、リモートのインターネットサーバー（ネットワークサービス）や互換性のある PC に保存できます。リモートのインターネットサーバーにデータが保存されている場合、本機から同期を実行することにより、携帯電話機とデータを同期させることができます。互換性のある PC から同期を実行することにより、本機に登録されている連絡先、カレンダー、ノートのデータを、互換 PC の対応するデータに同期させることもできます。

SIM カードに保存されている連絡先データは同期されません。

サーバーとの同期

同期サービスを使用するには、このサービスに登録し、必要な設定を入手する必要があります。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

携帯電話機から同期を開始するには、次のようにします。

1. 同期の実行に必要な設定を選択します。「サーバーとの同期の設定」（P. 53）を参照してください。
2. [Menu] を押して「*Organiser*」、「*Synchronisation*」、「*Server sync*」、「*Data to be synchronised*」の順に選択します。同期するデータにマークを付けます。
3. [Menu] を押して「*Organiser*」、「*Synchronisation*」、「*Server sync*」、「*Synchronise*」の順に選択します。確認メッセージが表示された後、マークの付いたアクティブなデータセットが同期されます。

連絡先やカレンダーの量が多い場合、同期を初めて実行する際や、いったん中断した後に再開する際に、同期の完了までに最長で 30 分かかることがあります。

サーバーとの同期の設定

同期の実行に必要な設定は、サービスプロバイダから設定メッセージとして受信することができます。設定を管理するには、「構成の設定」（P. 45）を参照してください。

[Menu] を押して 「*Organiser*」、「*Synchronisation*」、「*Server sync*」、「*Sync settings* 」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Configuration*」- 同期をサポートする設定のみが表示されます。サービスプロバイダを選択し、同期の「*Default*」または「*Personal config.*」を選択します。

「*Account*」- 有効な設定に含まれる同期サービスのアカウントを選択します。

「*User name*」- ユーザー名を入力します。

「*Password*」- 同期サービスのパスワードを入力します。

PC との同期

「*Contacts*」と同期させるには、本機と互換性のある PC からデータケーブル接続を使用して、「*Calendar*」、「*Notes*」の順に選択します。本機の Nokia PC Suite ソフトウェアが PC にもインストールされている必要があります。PC から Nokia PC Suite を使用して同期を開始します。あらかじめ、本機が待受状態にあり、日時が設定されていることを確認してください。

PC 同期の設定

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Synchronisation*」、「*PC sync settings*」の順に選択し、「*User name:*」と「*Password:*」を入力します。携帯電話機と PC で同じユーザー名とパスワードを指定する必要があります。

14. アプリケーション

■ゲームとアプリケーション

本機のソフトウェアは、Nokia の携帯電話用につくられたゲームと Java アプリケーションを搭載しています。

ゲームまたはアプリケーションを起動するには、[Menu] を押して、「*Applications*」、「*Games*」、「*Select game*」、または「*Collection*」、「*Select application*」の順に選択します。使用するゲームまたはアプリケーションまでスクロールして、[Open] を選択するか、開始ボタンを押します。

ゲームとアプリケーションには、次のオプションが利用できます。

「*Delete*」- 本機からゲームまたはアプリケーションを削除します。

「*Details*」- ゲームまたはアプリケーションの詳細情報が確認できます。

「*Update version*」- 最新バージョンがサービスからダウンロード可能かどうかを確認できます（ネットワークサービス）。

「*Web page*」- インターネットのページから詳細情報や追加のデータを入手します。この機能は、ネットワークが対応している場合に限られます。

「*App. access*」- ゲームまたはアプリケーションがネットワークにアクセスできないようにして、余計な料金がかからないようにします。「*Communication*」、「*Network access*」または「*Messaging*」を選択するか、「*Auto-start*」を選択します。このようなアクセス権はカテゴリごとに 1 つ選択します。

ゲームとアプリケーションのダウンロード

本機は J2ME® Java アプリケーションに対応しています。ダウンロードする前に、アプリケーションが本機対応のものかどうか確認してください。

[Menu] を押して「*Applications*」、「*Games*」、「*Game downloads*」、または「*Collection*」、「*App. downloads*」の順に選択します。利用できるブックマークのリストが表示されます。「*Web*」メニューにあるブックマークのリストにアクセスするには、「*More bookmarks*」を選択します （「ブックマーク」P.63 参照）。

ブックマークを選択し、必要なサービスに接続します。各サービスのご利用や料金については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

重要: ゲームやアプリケーションをインストールする際は、そのサイトのセキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

アプリケーションをダウンロードしたときに、「*Applications*」メニューではなく、「*Games*」メニューに保存されることがあります。

ゲームの設定

[Menu] を押して「*Applications*」、「*Games*」、「*App. settings*」の順に選択し、ゲーム中のサウンド、照明、バイブレータを設定します。

メモリの状態

ゲームやアプリケーションのインストール（第三共有メモリ）に利用できるメモリの使用状況を表示するには、[Menu] を押して、「*Applications*」、「*Games*」の順に選択するか、「*Collection*」、「*Memory*」の順に選択します。

■ 電卓

本機の電卓には、足し算、引き算、かけ算、割り算、2 乗、平方根、および通貨の換算機能があります。

注意： 本機の電卓は簡単な計算向けに設計されているため、精度には限界があります。

[Menu] を押して「*Applications*」、「*Extras*」、「*Calculator*」の順に選択します。画面に 0 が表示されたら、計算する 1 番目の数を入力します。小数点には # キーを押します。[Options] を押して「*Add*」、「*Subtract*」、「*Multiply*」、「*Divide*」、「*Square*」、「*Square root*」、または「*Change sign*」を選択します。計算する 2 番目の数を入力します。結果を出すには、「Equals」を選択します。この手順を必要なだけ繰り返します。新しい計算を開始するには、[Clear] を長く押します。

通貨を換算するには、[Menu] を押して「*Applications*」、「*Extras*」、「*Calculator*」の順に選択します。換算レートを設定するには、[Options]、「*Exchange rate*」の順に選択します。表示されたオプションのどちらか一方を選択します。換算レートを入力して（小数点には # キーを押す）、[OK] を選択します。換算レートは別の値が入力されるまでメモリに残ります。通貨を換算するには、金額を入力して、[Options] を押し、「*In domestic*」または「*In foreign*」を選択します。

注意： 換算元の通貨を変更すると、換算レートはすべてゼロに設定されるので、新しい換算レートを入力する必要があります。

■ カウントダウンタイマー

[Menu] を押して「*Applications*」、「*Extras*」、「 *Countdown timer*」の順に選択します。タイマーの時間を、時間、分、および秒で入力します。タイマーの時間が経過したときに表示させるメッセージテキストも入力できます。タイマーを起動するには、「*Start*」を選択します。タイマーの時間を変更するには、「*Change time*」を選択します。タイマーを停止するには、「*Stop timer*」を選択します。

本機が待受モードのときにタイマーの時間が経過すると、アラーム音が鳴り、入力したテキストがある場合はテキストが、ない場合は「*Countdown time up*」が表示されます。アラームは、どのキーやボタンを押しても止められます。キーやボタンを押さなかった場合、アラームは 30 秒後に自動的に停止します。アラームを停止してテキストを削除するには、[Exit] を選択します。タイマーを再び起動するには、[Restart] を選択します。

■ ストップウォッチ

時間を計測したり、経過時間（スプリットタイム）を記録したり、ラップタイムを記録したりするには、ストップウォッチを使用します。ストップウォッチの使用中でも、本機の他の機能は使用できます。ストップウォッチをバックグラウンドで使用するには、終了ボタンを押します。

ストップウォッチをバックグラウンドで実行しながら本機の他の機能を使用すると、電池の消費が多くなり、本機の操作時間が短くなります。

[Menu] を押し「*Applications*」、「*Extras*」、「*Stopwatch*」の順に選択して、次のオプションから選択します。

「*Split timing*」- 経過時間を記録します。ストップウォッチの表示を開始するには、「Start」を選択します。経過時間を記録するたびに、「Split」を選択します。ストップウォッチを停止するには、「Stop」を選択します。測定した時間を保存するには、「Save」を選択します。ストップウォッチの表示を再開するには、[Options]、「*Start*」の順に選択します。この場合、以前の時間に新しい時間が追加されます。以前の時間をリセットするには、「*Reset*」を選択します。ストップウォッチをバックグラウンドで使用するには、終了ボタンを押します。

「*Lap timing*」- ラップタイムを記録します。ストップウォッチをバックグラウンドで使用するには、終了ボタンを押します。

「*Continue*」- バックグラウンドで使用しているストップウォッチを元に戻します。

「*Show last*」- 最後に計測した時間を表示します。ただし、ストップウォッチをリセットしていると表示されません。

「*View times*」または「*Delete times*」- 保存した時間を表示または削除します。

■ ウォレット

「*Wallet*」には個人情報を保存できます。たとえば、クレジットカードの番号、住所、ユーザー名とパスワードが必要なサービスのアクセスコードなどです。対応しているサービスでは、簡単に、ウォレットの情報を取り出して、オンラインのフォームに入力できます。

ウォレットに初めてアクセスするときには、暗号化したデータを保護するためのウォレットコードを設定する必要があります。「ウォレットコード」(P. xiii) を参照してください。

ウォレットに入っているすべての情報とウォレットコードを削除するには、待受モードで「*#7370925538#」(文字にすると「(*#res wallet#)」) を入力します。本機のセキュリティコードも必要です。「セキュリティコード」(P. xii) を参照してください。

ウォレットの情報を追加または編集するには、「*Wallet*」メニューを開きます。ウォレットに入っている情報をモバイルサービスで使用するには、ブラウザからウォレットにアクセスします。「Web」(P. 61) を参照してください。

ウォレットメニューにアクセスする

ウォレットメニューにアクセスするには、[Menu] を押し「*Application*」、「*Extra*」そして「*Wallet*」の順に選択します。ウォレットコードを入力して、次のオプションから選択します。

「*Wallet profiles*」- サービスごとにカードの組み合わせを作成します。ウォレットプロファイルは、たくさんのデータアイテムの入力を求めるサービスに便利です。異なるカードを別々に選択するのではなく、適切なウォレットプロファイルを選択するだけでかまいません。

「*Cards*」- 個人のカード情報を保存します。保存できるカードは、「*Payment cards*」、「*Loyalty cards*」、「*Access cards*」、「*User info cards*」、または「*Address cards*」です。対応しているサービスプロバイダでは、カード情報を設定メッセージとして本機で受信することも可能です。カードのカテゴリが通知されます。カード情報を設定として受信できるかどうかについては、カード会社またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

「*Tickets*」- モバイルサービスで購入した電子チケットの通知を保存します。電子チケットを表示するには、[Options] を押し「*View*」を選択します。

「*Receipts*」- モバイルサービスで購入した品物のレシートを保存します。

「*Settings*」- ウォレットの設定を変更します。「ウォレットの設定」（P. 59）を参照してください。

「*Personal notes*」- さまざまな個人情報を保存して、ウォレット PIN コードで保護します。たとえば、口座番号、パスワード、またはコードなどです。

ウォレットプロファイルを作成する

個人のカード情報を保存している場合、複数のカード情報を組み合わせて、1 つのウォレットプロファイルにまとめることができます。ウォレットプロファイルを使用すると、閲覧しながら、さまざまなカードに入っているデータを取り出すことができます。

1. ウォレットにアクセスして、「*Wallet profiles*」を選択します。
2. 新しいウォレットプロファイルを作成するには、プロファイルが追加されていない場合は、「Add new」を選択します。それ以外の場合は、[Options] を押し「*Add new*」を選択します。
3. 以降のフィールドに入力します。いくつかのフィールドには、ウォレットから選択されたデータがすでに入っていることがあります。ウォレットプロファイルを作成する前には、このデータを保存しておく必要があります。

ウォレットの設定

ウォレットにアクセスして、「*Settings*」を選択します。ウォレットコードを変更するには、「*Change code*」を選択します。RFID（Radio Frequency IDentification）のコードとタイプを設定するには、「*RFID*」を選択して、「*RFID code*」と「*RFID type*」を選択します。RFID は、安全な商業活動に役立つ技術です。

ウォレットで購入する

買い物をするには、まず、ウォレットに対応している Web サイトにアクセスします。このサービスは ECML（Electronic Commerce Modeling Language）仕様に対応している必要があります。「サービスに接続する」（P. 61）を参照してください。購入したい製品を選び、その製品の情報を購入の前に注意して読んでください。

注意事項が画面にすべて表示されていない場合があります。スクロールしながらすべてのテキストを読んでください。

購入したい品物の支払いにウォレットを使用するかどうか尋ねられます。使用すると答えた場合、ウォレット PIN コードの入力も求められます。

「*Payment cards*」リストから、支払いに使用するカードを選択します。サービスプロバイダから受信したデータがECML（Electronic Commerce Modeling Language）に対応している場合、ウォレットに記録されているクレジットカード情報またはウォレットプロファイルが自動的に入力されます。

購入に同意すると、これらの情報が転送されます。

購入した品物の領収証またはデジタルレシートが送信されます。

ウォレットを閉じるには、「*Close wallet*」を選択します。ウォレットは5分間使用しないと自動的に閉じます。

パスワードの入力が必要な機密性のある情報（銀行口座など）へアクセスを試みたり、実際にアクセスした場合は、アクセス後に本機のキャッシュを空にしてください。

キャッシュを空にする方法については、「キャッシュメモリ」（P. 65）を参照してください。

15. Web

本機では、さまざまなモバイルインターネットサービスにアクセスできます。

重要：サービスにアクセスする際は、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

このようなサービスを利用できるかどうか、そして、その価格、料金、および操作方法については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

本機のブラウザでは、WML（Wireless Markup Language）または XHTML（eXtensible HyperText Markup Language）で作成されたサービスを表示できます。ページの外観は画面のサイズのために変わる場合もあります。インターネットのページは細部を一部表示できない場合もあります。

■ ブラウザを設定する

ブラウザに必要な設定は、設定メッセージとしてサービスプロバイダから受信することも可能です。「設定サービス」（P. xiii）を参照してください。すべての設定を手入力することもできます。「構成の設定」（P. 45）を参照してください。

■ サービスに接続する

使用したいサービスの設定が正しく有効であることを確認します。

1. サービスに接続するための設定を選択するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Configuration settings*」の順に選択します。
2. 「*Configuration*」を選択します。閲覧サービスに対応している設定だけが表示されます。閲覧するサービスプロバイダ、「*Default*」、または「*Personal config.*」を選択します。「ブラウザを設定する」（P. 61）を参照してください。

   有効な設定に含まれている「*Account*」と閲覧サービスを選択します。

   インターネット接続のユーザー認証を手作業で実行するには、「*Display terminal window*」、「*Yes*」の順に選択します。

サービスに接続するには、次の方法から選択します。

- [Menu] を押し「*Web*」、「*Home*」の順に選択するか、待受モードでは、**0** を長く押します。
- サービスのブックマークを選択するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Bookmarks*」の順に選択します。

- 最後の URL を選択するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Last web addr.*」の順に選択します。
- サービスのアドレスを入力するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Go to address*」の順に選択して、サービスのアドレスを入力します。

■ ページを閲覧する

サービスに接続した後、そのページの閲覧を開始できます。本機のキーの機能はサービスによって変わります。本機の画面に表示されるガイドに従ってください。詳細は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

データ転送方法としてパケットデータが選択されている場合、閲覧中、G が画面の左上に表示されます。パケットデータ接続中に電話またはテキストメッセージを受けた場合、または電話をかけた場合、G が画面の右上に表示されて、パケットデータ接続が中断していることを示します。通話が終了した後、本機は再びパケットデータ接続を行います。

キーを使って閲覧する

ページを閲覧するには、ナビゲーションキーを使用します。

強調表示されたアイテムを選択するには、開始ボタンを押すか、[Select] を選択します。

文字や数字を入力するには、**0** から **9** までのキーを押します。特殊な文字を入力するには、***** を押します。

閲覧中のオプション

本機で利用できるオプションに加えて、サービスプロバイダが他のオプションを提供することがあります。

電話をかける

このブラウザでは、ページの閲覧中に別の機能を使用することができます。電話をかける、通話中にプッシュトーン（DTMF tone）を送信する、閲覧中のページにある名前や電話番号を保存することなどができます。

■ ブラウザの表示設定

閲覧中、[Options] を押し「*Other options*」、「*Appear. settings*」の順に選択するか、待受モードでは、[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Appearance settings*」の順に選択して、次のオプションから選択します。

「*Text wrapping*」、「*On*」の順に選択 - 画面からはみ出るテキストを折り返して、次の行に表示されるように設定します。「*Off*」を選択した場合、画面からはみ出るテキストは表示されません。

「*Font size*」を選択し、「*Extra small*」、「*Small*」、または「*Medium*」を選択 - フォントのサイズを設定します。

「*Show images*」、「*No*」の順に選択 - ページにある画像を表示しません。

画像がたくさんあるページの閲覧が速くなります。

「*Alerts*」、「*Alert for unsecure connection*」、「*Yes*」の順に選択 - 閲覧中、暗号化されている接続が暗号化されていない接続に変わると警告を鳴らすように設定します。

「*Alerts*」、「*Alert for unsecure items*」、「*Yes*」の順に選択 - 暗号化されているページに安全でないアイテムが含まれている場合に警告を鳴らすように設定します。このような警告は安全な接続を保証するものではありません。「ブラウザのセキュリティ」(P. 65)を参照してください。

「*Character encoding*」、「*Content encoding*」の順に選択 - ブラウザのページで表示されるコンテンツの文字コードを選択します。

「*Character encoding*」、「*Unicode (UTF-8) web addresses*」、「*On*」の順に選択 - URL を UTF-8 文字コードとして送信するように設定します。この設定は、外国語で作成された Web ページにアクセスするときに必要です。

■ クッキー

クッキーとは、サイトが本機のキャッシュメモリに保存するデータのことです。クッキーはキャッシュメモリをクリアするまで保存されます。「キャッシュメモリ」(P. 65)を参照してください。

閲覧中、[Options] を押し「*Other options*」、「*Security*」、「*Cookie settings*」の順に選択するか、待受モードで [Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Security settings*」、「*Cookies*」の順に選択します。クッキーの受け入れを許可または拒否するには、「*Allow*」または「*Reject*」を選択します。

■ 安全な接続でのスクリプト

安全なページからのスクリプトの実行を許可するかどうかを選択できます。本機は WML スクリプトに対応しています。

1. 閲覧中、[Options] を押し「*Other options*」、「*Security*」、「*Script settings*」の順に選択するか、待受モードでは、[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Security settings*」、「*Scripts over secure connection*」の順に選択します。
2. スクリプトの実行を許可するには、「*Allow*」を選択します。

■ ブックマーク

ページのアドレスを本機のメモリにブックマークとして保存することができます。

1. ページ閲覧中に、[Options] を押し「*Bookmarks*」を選択するか、待受モードで [Menu] を押し「*Web*」、「*Bookmarks*」の順に選択します。
2. ブックマークのページにアクセスするには、ブックマークにスクロールしてから、それを選択するか、開始ボタンを押します。

3. ブックマークを表示、編集、削除、または送信したり、新しいブックマークを作成したり、ブックマークをフォルダに保存するには、[Options] を選択します。

本機には、Nokia のサイトとは関連のないブックマークがあらかじめ登録されている場合があります。Nokia はそれらのサイトの対応や保証はしておりません。それらのサイトにアクセスする際は、他のインターネットのサイトにアクセスするときと同様に、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

ブックマークを受信する

ブックマークとして送信されたブックマークを受信すると、「*1 bookmark received*」が表示されます。受信したブックマークを保存するには、[Show]、[Save] の順に選択します。ブックマークを表示または削除するには、[Options] を押し、「*View*」または「*Delete*」を選択します。受信したブックマークを受信直後に捨てるには、[Exit]、[OK] の順に選択します。

■ファイルをダウンロードする

他の着信音、画像、ゲーム、またはアプリケーションを本機にダウンロードするには（ネットワークサービス）、[Menu] を押し「*Web*」、「*Downloads*」の順に選択して、「*Tone downloads*」、「*Graphic downloads*」、「*Game downloads*」、「*Video downloads*」、「*Theme downloads*」、または「*App. downloads*」を選択します。

重要: ゲームやアプリケーションをインストールする際は、そのサイトのセキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

■サービス受信ボックス

本機は、サービスプロバイダから送信されたサービスメッセージ（プッシュメッセージ）を受信できます（ネットワークサービス）。サービスメッセージとは、たとえば、ニュースのヘッドライン通知のことで、サービスのテキストメッセージやアドレスが入っています。

待受モードで「*Service inbox*」にアクセスするには、サービスメッセージを受信したときに、[Show] を選択します。[Exit] を選択すると、メッセージは「*Service inbox*」に移動されます。その後で「*Service inbox*」にアクセスするには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Service inbox*」の順に選択します。

閲覧中に「*Service inbox*」にアクセスするには、[Options] を押し「*Other options*」、「*Service inbox*」の順に選択します。必要なメッセージまでスクロールします。ブラウザを起動して、マークしたコンテンツをダウンロードするには、[Retrieve] を選択します。サービス通知の詳細情報を表示したり、メッセージを削除したりするには、[Options] を押し、「*Details*」または「*Delete*」を選択します。

サービス受信ボックスの設定

[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Service inbox settings*」の順に選択します。

サービスメッセージを本機で受信するかどうかを設定するには、「*Service messages*」を選択して、「*On*」または「*Off*」を選択します。

サービスプロバイダから承認されたコンテンツ作者のサービスメッセージだけを本機で受信するように設定するには、「*Message filter*」、「*On*」の順に選択します。承認されたコンテンツ作者のリストを表示するには、「*Trusted channels*」を選択します。

待受モードでサービスメッセージを受信したときに、自動的にブラウザを起動するように設定するには、「*Automatic connection*」、「*On*」の順に選択します。「*Off*」を選択した場合、ブラウザを起動するには、サービスメッセージを受信した後に、「*Retrieve*」を選択します。

■ キャッシュメモリ

キャッシュとは、データを一時的に格納するために使用されるメモリの場所のことです。パスワードの入力が必要な機密性のある情報へアクセスを試みたり、実際にアクセスした場合は、アクセス後に本機のキャッシュを空にしてください。アクセスした情報やサービスはキャッシュに格納されます。

閲覧中にキャッシュを空にするには、[Options] を押し「*Other options*」、「*Clear the cache*」の順に選択します。待受モードでキャッシュを空にするには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Clear the cache*」の順に選択します。

■ ブラウザのセキュリティ

オンラインバンキングやオンラインショッピングなどのサービスには、セキュリティ機能が必要です。このような接続には、セキュリティ証明書とセキュリティモジュール（SIM カードで提供）が必要になります。詳細は、サービスプロバイダにお問い合わせください。

セキュリティモジュール

セキュリティモジュールは、ブラウザ接続が必要なアプリケーションのセキュリティサービスを強化して、デジタル署名を使用できるようにします。セキュリティモジュールには、証明書に加えて、非公開鍵と公開鍵が格納されます。証明書は、サービスプロバイダによってセキュリティモジュールに保存されます。

[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Security settings*」、「*Security module settings*」の順に選択して、次のオプションから選択します。

「*Security module details*」- セキュリティモジュールのタイトル、状態、作成者、およびシリアル番号を表示します。

「*Module PIN request*」- セキュリティモジュールが提供するサービスを使用するときに、モジュール PIN の入力を要求するように設定します。コードを入力して、「*On*」を選択します。モジュール PIN の入力を要求しない場合は、「*Off*」を選択します。

「*Change module PIN*」- モジュール PIN を変更します（セキュリティモジュールで許可されている場合のみ）。現在のモジュール PIN コードを入力して、次に、新しいコードを 2 回入力します。

「*Change signing PIN*」- デジタル署名用の署名付き PIN コードを変更します。変更したい署名付き PIN コードを選択します。現在の PIN コードを入力して、次に、新しいコードを 2 回入力します。「アクセスコード」（P. xii）も参照してください。

証明書

重要：証明書によってリモート接続とソフトウェアインストールにおける危険性はかなり軽減されますが、正しく使用しなければ、セキュリティは強化されません。証明書が存在するだけで保護されるわけではありません。証明書の管理者が正規の証明書、認証された証明書、または信頼できる証明書を提供しなければ、セキュリティは強化されません。証明書の有効期間は限られています。証明書が有効であるにもかかわらず、[Expired certificate] または [Certificate not valid yet] が表示される場合は、本機の現在の日付と時刻が正しいかどうか確認してください。

証明書の設定を変更する前には、証明書の所有者が信頼できること、そして、その証明書が表示された所有者に属することを確認する必要があります。

証明書には 3 つの種類があります。サーバー証明書、認証機関証明書、そしてユーザー証明書です。これらの証明書はサービスプロバイダから送信されます。認証機関証明書とユーザー証明書は、サービスプロバイダによってセキュリティモジュールにも保存されます。

本機にダウンロードされている認証機関証明書とユーザー証明書のリストを表示するには、[Menu] を押し「*Web*」、「*Settings*」、「*Security settings*」を選択して、「*Authority certificates*」または「*User certificates*」を選択します。

接続中にセキュリティアイコン が表示されると、本機とコンテンツサーバー間のデータ転送が暗号化されていることを意味します。

セキュリティアイコンが表示されていても、ゲートウェイとコンテンツサーバー（または、要求されたリソースが格納されている場所）間のデータ転送が安全であるとは限りません。ゲートウェイとコンテンツサーバー間のデータ転送の安全性は、サービスプロバイダの管理次第です。

デジタル署名

SIM カードにセキュリティモジュールが保存されている場合、本機でデジタル署名を行うことができます。デジタル署名は、請求書や契約書などの紙の書類に署名するのと同じ行為とみなされます。

デジタル署名を行うには、まず、ページにあるリンク（たとえば、購入したい本のタイトルや価格）を選択します。署名するべきテキストが表示されます。ここには、数量と日付などが書かれています。

ヘッダーのテキストが「*Read*」であり、デジタル署名アイコン が表示されていることを確認します。

デジタル署名アイコンが表示されていない場合、セキュリティに問題があります。このような場所には個人データ（署名付き PIN など）を入力してはなりません。

テキストに証明するには、まず、テキストをすべて読んで、[Sign] を選択します。

テキストは一画面に収まらない場合もあります。署名する前に、スクロールしながらすべてのテキストを読んでください。

使用したいユーザー証明書を選択します。署名付き PIN を入力して（「アクセスコード」P. xii を参照）、[OK] を選択します。デジタル署名アイコンが消えて、購入の確認が表示されます。

16. SIM サービス

本機の機能の他に、SIM カードが提供するサービスも使用できます。このメニューは SIM カードが本機に対応している場合のみ表示されます。メニューの名前と内容は SIM カードによって異なります。

SIM カードサービスの使用についての情報は、SIM カードベンダーにお問い合わせください。SIM カードベンダーとは、サービスプロバイダ、ネットワークオペレータ、またはその他の業者をさします。

SIM サービスを使用するときに、本機とネットワーク間で送信される確認メッセージを表示するように設定するには、[Menu] を押し「*Settings*」、「*Phone settings*」、「*Confirm SIM service actions*」、「*Yes*」の順に選択します。

SIM サービスにアクセスする際に、メッセージの送信や電話の発信が必要になる場合があります。その際に発生する通信または通話料金は有料となる場合があります。

17. パソコンとの接続について

データケーブル（CA-42）で本機を互換パソコンに接続すると、電子メールの送受信やインターネットへのアクセスを行うことができます。本機はさまざまなパソコンやデータ通信アプリケーションと連携して使用できます。

■ PC Suite

PC Suite を使用すると、本機と互換パソコン（または、リモートのインターネットサーバー)の間で、連絡先、カレンダーと予定表、およびノートの同期を取ることができます（ネットワークサービス）。

詳しい情報やファイルのダウンロードなどについては、Nokia の Web サイトの PC Suite のページ（www.nokia.co.jp/pcsuite）にアクセスしてください。

■ パケットデータ、HSCSD、および CSD

本機では、パケットデータ、HSCSD（High-Speed Circuit Switched Data）、および CSD（Circuit Switched Data、GSM data）を使用できます。

データサービスを利用できるかどうかや申し込み方法については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

HSCSD サービスを使用すると、通常の音声またはデータの通信時よりも電池の消耗が早くなります。

データ転送中、本機を充電器に接続する必要がある場合があります。

「パケットデータ（EGPRS）」（P. 43）を参照してください。

■ データ通信アプリケーション

データ通信アプリケーションの使用方法については、そのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。パソコンとの接続中に電話をうけたりかけたりすると、その操作が中断される可能性があるので推奨されません。データ通信中の性能を上げるため、本機は水平な場所に、キーがある面を下にして置いてください。データ通信中は、本機を手で持って動かしたりしないでください。

18. 電池について

■ 充電と放電

本機は、充電できる電池を電源として使用しています。新しい電池を使用する際には、完全充電と放電のサイクルを2、3回繰り返すと、完全に充電できるようになります。電池は数百回充電と放電を繰り返すことができますが、次第に消耗します。使用時間（通話時間と待受時間）が極端に通常より短くなった場合は、電池を取り替えてください。Nokia認定の電池以外は使用しないでください。また、Nokia認定の充電器以外を用いて電池の充電をしないでください。

充電器を使用していないときは、コンセントから外してください。過充電は電池の寿命を短くする場合がありますので、充電が完了した電池を充電器に接続したまま放置しないでください。完全に充電された電池は使用しなくても徐々に放電します。

本来の目的以外にこの電池を使用しないでください。損傷した充電器または電池を使用しないでください。

電池をショートさせないでください。金属物（コイン、クリップ、またはペン）が電池の金属部分のプラス端子およびマイナス端子（電池の金属部分）に直接接続した場合、偶発的に電池がショートすることがあります。このような事故は、ポケットまたは財布に予備のバッテリーを携帯している場合などに起こる可能性があります。端子をショートさせると、電池または接続物が損傷することがあります。

夏の閉め切った車中や寒い冬の日など、高温または低温の場所に電池を放置しておくと、電池の容量と寿命が短くなります。電池は常に15°C～25°C（59°F～77°F）の温度範囲で保管するようにしてください。高温または低温状態の電池は、完全に充電されていても取り付けたときに一時的に本機が動作しない場合があります。0°C以下では、電池の性能が著しく制限されます。

爆発する可能性があるため、火の中へは絶対に電池を投げ込まないでください。また、電池は損傷があると爆発する可能性があります。電池は、リサイクル処分など地域の条例に従って処理してください。一般廃棄物として廃棄しないでください。

■ Nokia 純正電池の認証確認

安全のため、必ず Nokia 純正電池をお使いください。Nokia 純正電池を確実に入手できるよう、電池は Nokia の指定販売店から購入してください。パッケージの Nokia Original Enhancements ロゴを確認し、次の手順に従って電池のホログラムラベルを確認してください。

次の手順どおりに確認しても、電池の認定が必ず保証されるわけではありません。電池が Nokia Original Enhancements 認定を受けていない疑いがある場合は、直ちに使用を中止し、ハローノキア（0570-0-66542）にご相談ください。

認証ホログラムでの確認方法

1. 電池に付いているホログラムのラベルを確認します。見る角度に応じて、2つの手のイラストまたは Nokia Original Enhancements ロゴが映し出されます。

2. ホログラムを傾けると、ロゴの周囲にドットが見えます。ドットは、ロゴの左側に1つ、右側に2つ、下に3つ、上に4つあります。

3. ラベルのスクラッチ部分を削って電池に付いている 20 桁の認証コードを確認します（例: 12345678919876543210）。20 桁の認証コードは、上の段の数字に下の段の数字を続けたものです。

4. 20 桁のコードが有効なものかどうかは、www.nokia.co.jp/batterycheck にあるインストラクションで確認できます。

SMS（ショートメッセージ）に20 桁のコード（例 : 12345678919876543210）を入力し、宛先「+61 427151515」に送信します。SMS の通信には、通信事業者の SMS 料金がかかります。

SMS を送信後、認証コードが有効かどうかを知らせるメッセージが返信されます。

（注 1）: 通信事業者によっては SMS による確認を行うことが出来ない場合があります。

電池が認定を受けていない場合

ご使用になられている電池のホログラムラベルで、Nokia 純正電池の認証が確認できなかった場合は、電池の使用を中止してください。製造者の承認を受けていない電池の使用は危険な場合があり、性能の劣化および機器やアクセサリの破損に及ぶ場合もあります。また、機器の認証や保証が無効となる場合があります。

Nokia 純正電池について詳しくは、www.nokia.co.jp/batterycheck を参照してください。

SMS による認証コードの確認および送信された携帯電話番号等の個人情報の管理はノキアのオーストラリア法人（NOKIA AUSTRALIA PTY LTD）およびシンガポール法人（NOKIA PTE LTD）にて行います。

ノキア製品の安全・安心な使用のため、非純正電池をお使いの場合には、ノキアよりお客様にご連絡を差し上げる場合もございますのであらかじめご了承ください。

19. アクセサリについて

本機でご利用いただけるアクセサリのバリエーションがさらに広がりました。お客様のニーズに合わせてアクセサリをお選びください。

本機に対応するアクセサリについて、いくつかここでご紹介します。

アクセサリのご購入については、製品お買い上げ店までお問い合わせください。アクセサリのご使用にあたっては、次の注意事項をお守りください。

- 小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
- アクセサリの電源コードを外す際には、コードではなくプラグを持って抜いてください。
- 車内の携帯電話機器は、適切に取り付けられ、正常に動作しているか定期的に確認してください。

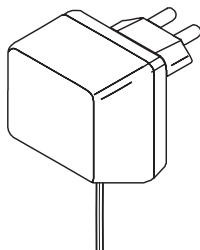
本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

■ 電池パック

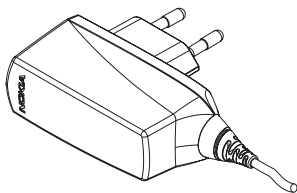
型番	使用	連続通話時間 *	連続待受時間 *
BL-5B	リチウムイオン	3.5 時間（最大）	350 時間（最大）

* SIM カード、ネットワークおよび使用設定、使用方法、環境によって、連続通話時間および連続待受時間が異なる場合があります。FM ラジオやハンズフリーの使用は、連続通話時間と連続待受時間に影響します。

急速充電器 （ACP-7）

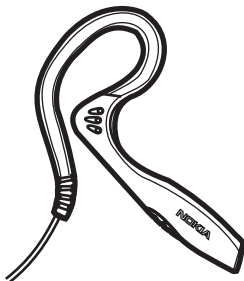
小さくて軽い、携帯に便利な急速充電器 ACP-7 で、電池の充電を簡単に行えます。電話機または卓上ホルダに簡単に接続して使用できます。

注意 : 国によってプラグのタイプは異なります。

急速充電器（ACP-12）

小さくて軽い、携帯に便利な急速充電器（ACP-12）は、多電圧対応（100 - 240V）です。電池の充電が簡単におこなえます。

注意：国によってプラグのタイプは異なります。

■ オーディオ

イヤホンマイク（HDB-4）

イヤホンマイク（HDB-4）は、小さくて軽く、Nokia 独特の美しいデザインのイヤホンマイクです。良好な音質で、イヤホンマイクの送話器部分にあるボタンを押すだけで電話に応答したり、通話を終了したりすることができます。

20. お手入れとメンテナンスのお問い合わせ

本機の製造には、優れたデザインと技術が採用されています。お取り扱いには十分ご注意ください。次の注意事項をお読みになり、保証義務をお守りいただき、末永く本機をご利用ください。

- 湿気のある場所に置かないでください。雨水や湿気など、あらゆる種類および状態の水分はミネラルを含み、電気回路を腐食させます。本機が水に濡れてしまった場合は、電池を取り出して、完全に乾かしてから、電池を元に戻してください。
- ほこりが多く、清潔でない場所で使用または保管しないでください。電話機の可動部が損傷することがあります。
- 高温の場所で保管しないでください。高温状態では、電子機器の寿命を短くするだけでなく、電池が損傷したり、特定のプラスチック部品が変形したり、溶けたりする原因となります。
- 低温の場所で保管しないでください。電話機を通常の温度まで暖めると、本体の内部に結露が発生し、電気回路基板に損傷をきたすことがあります。
- 本書で説明している手順以外の方法では、本機を分解しないでください。
- 本機を落としたり、たたいたり、振ったりしないでください。手荒く扱うと、内部の回路基板が損傷する場合があります。
- 本機のお手入れをする場合、刺激の強い化学薬品、洗濯用溶剤、または強力な洗剤を使用しないでください。
- 本機を塗装しないでください。塗装すると装置の可動部を詰まらせ、適切に動作しなくなることがあります。
- カメラ、近接センサー、光センサーなどのレンズを拭くときには、柔らかく、きれいな、乾いた布を使用してください。
- 付属の、または Nokia が認定した交換アンテナのみを使用してください。無許可のアンテナ、改造、付属品の取り付けは、電話機の損傷の原因となり、無線装置についての規定に違反する場合があります。
- 充電器は室内で使用してください。
- 本機をサービスセンターに送る前には、必ず、重要なデータのバックアップを保存しておいてください。

これらの注意事項は、電話機の本体、電池、充電器、またはその他のアクセサリすべてに適用されます。本体、電池、充電器、またはその他のアクセサリのうち、適切に動作しないものがある場合は、ノキアコンタクトセンター「ハローノキア」までご相談ください。

21. 安全についての追加情報

本機やアクセサリには、小さな部品が付いています。小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

■ 操作環境

本機の利用について特別な規則がある場所では、それらの規則に従ってください。本機の使用が禁止されている、または電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。本機を通常の操作位置以外で、ご使用にならないでください。本機は、通常の耳元での操作位置、または人体から最低 2.2cm 離した位置で使用された場合に RF 暴露のガイドラインに適合します。本機をキャリーケース、ベルトクリップ、またはホルダーとともに人体に身に付ける場合は、金属製物質と一緒に身に付けず、本機が人体から最低 2.2cm 離れたところに位置するようにしてください。データファイル、またはメッセージを転送するために、本機はネットワークとの状態の良い接続を必要とします。場合によっては、データファイル、またはメッセージの転送は、ネットワークの状態が良くなるまで遅れることがあります。転送が完了するまで本機が人体から 2.2cm 離れていることを確認してください。

本機は磁気部品を使用しており、金属物が本機に引き寄せられる場合があります。本機の近くにクレジットカードや、その他の磁気記憶媒体を置かないでください。記憶された情報が消去されてしまうことがあります。

■ 医療機器

携帯電話を含む無線送信機の動作は、十分に保護されていない医療機器の機能を妨害する可能性があります。医療機器が外部の RF 信号から十分に遮蔽されているかを判断する際、またはご不明な点がありましたら、医師または医療機器メーカーにご相談ください。医療施設などで本機の電源を切るよう規則が掲示してある場合は、その指示に従ってください。病院または医療施設では、外部の RF 信号に対して感度の高い電気医療機器を使用している場合があります。

ペースメーカー

ペースメーカー製造業者は、ペースメーカーの誤作動を防ぐため、携帯電話をペースメーカーから 15.3cm 以上離すことを勧めています。以下の勧告は、「Wireless Technology Research」が独自に行った研究に基づいて推奨されるものです。ペースメーカーを装着されている方は、次の事項を守ってください。

- 本機の電源が入っているときは、常に本機をペースメーカーから 15.3cm 以上離してください。

- 胸ポケットに本機を入れて持ち運ぶのはおやめください。
- ペースメーカーの誤作動を最小限にするため、ペースメーカーを装着している側の反対の耳で本機をご使用ください。

ペースメーカーの誤作動が少しでも疑われる場合は、すぐに本機の電源を切り、本機を離れたところに置いてください。

補聴器

デジタル無線機が一部の補聴器の動作を干渉する場合があります。万が一、そのような干渉があった場合は、ご契約されているサービスプロバイダまでご相談ください。

■ 乗り物

RF 信号は、適切に取り付けられていない、または十分に遮蔽されていない自動車の電子装置（電子燃料噴射システム、電子アンチロックブレーキ装置、電子速度制御装置、およびエアバック装置など）に影響を与える場合があります。詳しい情報につきましては、自動車および追加装備した装置のメーカー、または代理店にご確認ください。

資格を有するスタッフ以外は、本機の修理、または自動車への本機の取り付けをしないでください。誤った取り付けや修理は危険を伴うことがあるだけでなく、本機に適用されるすべての保証が無効になる場合があります。車内の無線機は、適切に取り付けられ、正常に動作していることを定期的に確認してください。可燃性の液体、ガス、または爆発性物質を、本機、その部品、またはアクセサリと一緒に車内に保管、または持ち運ばないでください。エアバックを装備した自動車では、エアバックが強い力で膨らみます。エアバックの上の部分、またはエアバックが膨らむ範囲に、固定無線機と移動無線機の両方を含めて、物を置かないでください。車内の無線機が適切に取り付けられていない場合、エアバックが膨らんだときに重傷を負うことがあります。

飛行中に本機を使用することは禁止されています。航空機に搭乗する前に本機の電源を切ってください。航空機内で携帯電話を使用すると、航空機の操作に危険をもたらし、無線通信が混信する原因にもなります。また機内での携帯電話の使用は違法となる場合もあります。

■ 爆発の危険がある場所

爆発の危険がある場所では、本機の電源を切り、すべての標識や指示に従ってください。爆発の危険がある場所とは、通常自動車のエンジンを停止するよう指示されている場所を含みます。そのような場所で発生する火花は、爆発または火災の原因となり、怪我や死につながる恐れがあります。ガソリンスタンドのガソリンポンプの近くといった給油地点では、本機の電源を切ってください。給油箇所、燃料貯蔵、燃料販売場所、化学工場、または爆破作業が行われてい

る現場での無線機の使用に関する規制に従ってください。爆発の危険がある場所は、たいていの場合は明確に表示されていますが、常にそうであるとは限りません。そのような場所としては、船のデッキの下、化学物質の搬送または保管施設、液化石油ガス（プロパンまたはブタン等）を使用する自動車、大気中に結晶粒、ほこり、または金属粉末といった化学物質または微粒子が含まれる場所があります。

■ 緊急通報

重要: 他の携帯電話と同じように、本機は無線信号、無線ネットワーク、有線ネットワーク、およびお客様によってプログラムされた機能も使用しているため、すべての条件で接続を保証できるものではありません。従って、救急車を呼ぶ場合といった非常に重要な連絡には、無線機だけに頼らないようにしてください。

緊急電話番号に電話をかけるには

1. 本機の電源が入っていない場合は、電源を入れます。電波が十分に届いていることを確認してください。

   ネットワークによっては、有効な SIM カードを電話機に挿入するよう要求される場合があります。

2. 必要な数だけ終了ボタンを押して画面をクリアし、電話がかけられる状態にします。
3. 現在いる地域の緊急電話番号を入力します。地域によって緊急電話番号は異なります。
4. 開始ボタンを押して電話をかけます。

使用中の機能によっては、緊急電話番号に電話をかける前に機能を終了する必要があります。本機がオフラインモードまたはフライトモードの状態で緊急電話番号に電話をかけるには、モードを変更して電話の機能を有効にする必要があります。詳細は本書を参照の上、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

緊急電話番号に電話をかける場合、必要な情報をできる限り正確に伝えることを心がけてください。事故現場では、お客様の無線機が唯一の通信手段となる場合があります。指示があるまでは電話を切らないでください。

■ 証明情報 - 携帯電話機の比吸収率（SAR）

このモデルの携帯電話は、電磁波暴露に関するガイドラインに適合しています。

本機は無線送受信機です。本機は、国際ガイドライン推奨の電磁波暴露限度を超えないよう設計されています。これらのガイドラインは、独立科学機関 ICNIRP によって策定されており、年齢や健康状態に関係なく、すべての人の安全を確保するのに十分な安全率を含んでい

ます。携帯電話の暴露基準には、SAR（比吸収率）という測定単位を採用しています。ICNIRP ガイドラインで指定される SAR 限度は、生体組織 10g あたり 2.0W/kg（ワット / キログラム）です。SAR 試験は、すべての試験周波数帯において通常の電話機の操作位置で、認証を受けた最大送信電力で行われます。操作中の電話機の実際の SAR レベルは、その最大値を下回る値となります。これは、ネットワークとの通信に必要最小限の送信電力となるように、電話機が設計されているためです。実際の値は、基地局にどのくらい近い位置にいるか等といった様々な要因によって異なります。本機を耳元で使用した試験の場合、ICNIRP ガイドラインに基づいた SAR の最大値は、0.78W/kg です。デバイスアクセサリやアクセサリの使用は、異なる SAR 値になる場合があります。SAR 値は、各国の報告要件、試験要求事項、およびネットワークの帯域によって異なる場合があります。SAR の追加情報については、www.nokia.com にある製品情報でご覧ください。

製造者による限定保証（日本国内でのみ有効です。）

注：本限定保証は、消費者製品の販売に適用される国内強行法規に基づくお客様の法律上の権利に追加されるものであり、当該権利に影響を及ぼすものではありません。

Nokia Corporation（以下「Nokia」といいます）は、販売パッケージに含まれる Nokia 製品（以下「本製品」といいます）の購入者に対し、限定的な保証を提供します。

Nokia は、保証期間中、Nokia 又は Nokia の認定サービス会社が、（法律により別途定めのある場合を除き）本限定保証に従い本製品を修理することにより、又は、Nokia が自らの絶対的な裁量権により必要とみなした場合は、本限定保証に従い本製品を交換することにより、商取引上合理的な時間内に材質、設計及び製造工程上の不具合を無償で修正します。本限定保証は、お客様が本製品を購入した国において、本製品がその国で販売されることを目的とされている限りにおいてのみ有効であり実施可能です。

保証期間

保証期間は、最初のエンドユーザによる本製品の当初の購入時点を起点とします。本製品は、いくつかの異なる種類の部品から構成されることがあり、それぞれの部品には、個別の保証期間（以下「保証期間」といいます）が適用されることがあります。個別の保証期間は以下の通りです。

1. 下記の (b) 及び (c) に列挙される消耗部品及び付属品を除き、移動機及び付属品（移動機の販売パッケージに含まれているか個別に販売されているかを問いません）については 12ヶ月間。
2. 次の消耗部品及び付属品については 6ヶ月間：バッテリー、充電器、卓上ホルダー、イヤホンマイク、ケーブル及びカバー。
3. CD-ROM、メモリカード等、何らかのソフトウェアを提供する媒体については 90 日間。

お客様の国内法令により許される限りにおいて、保証期間は、後日、本製品を再販売、修理又は交換したことを理由に延長されず、更新されず、又はその他影響を受けません。但し、修理された部品は、当初の保証期間の残余期間か、又は修理日から 60 日間のうち、いずれか長い方の期間について保証されます。

保証サービスを受けるには

お客様が本限定保証に基づき請求を行うことを希望される場合、Nokia コールセンターにご連絡をいただくか（コールセンターのご利用が可能な場合。ご利用には国内通話料が課せられることにご留意ください。）、及び／又は、必要な場合は、Nokia サービスセンター又は Nokia 指定修理店へ本製品又は問題のある部品（問題が本製品の全体にない場合）をご返送いただくことができます。Nokia サービスセンター、Nokia 指定修理店、及び Nokia コールセンターについては、ご利用が可能であれば Nokia の国別ホームーページに記載されております。

お客様は、保証期間が満了するまでに、Nokia サービスセンター又は Nokia 指定修理店へ、本製品又は問題のある部品（問題が本製品の全体にない場合）を返送しなければなりません。

本限定保証に基づく請求を行う場合、お客様は、a) 本製品（又は問題のある本製品の部品）、b) 購入を証明する書類の原本（判読可能かつ修正されていないものであって、販売者の名称及び所在地、購入日及び購入地、製品の種類、及び IMEI 又はその他シリアル番号が明示されているものとします）を提出しなければなりません。

本限定保証は、本製品の最初のエンドユーザに対してのみ適用され、その後の購入者／エンドユーザに対して譲渡されず又は移転されません。

本限定保証が適用されない場合とは？

1. 本限定保証は、本製品に含まれているかダウンロードされたかを問わず、また、インストール、アセンブル、出荷、又は流通の過程で含まれたか、その他いかなる方法によってもお客様が入手された取扱説明書、又は第三者ソフトウェア、設定、コンテンツ、データもしくはリンクには適用されません。適用法により許される範囲において、Nokia は、Nokia のソフトウェアがお客様の要件を充足すること、第三者から提供されたハードウェア若しくはソフト

ウェア・アプリケーションと連携して動作すること、ソフトウェアにエラーがない若しくは動作が中断されないこと、そしてソフトウェアの不具合が修正可能であることや修正されることを保証しません。

2. 本限定保証は、a) 通常の損耗（カメラレンズ、バッテリー又はディスプレイの損耗等を含みます）、b) 輸送費、c) 乱暴な取扱いに起因する不具合（刃物を使用したり、折り曲げ、圧迫し又は落としたこと等に起因する不具合等を含みます）、d)Nokia から出された指示（例：本製品の取扱説明書に記載される指示）に反する使用を含め、本製品の誤用に起因する不具合又は損傷、及び／又は e) その他 Nokia の合理的な管理を超える行為に対して適用されません。
3. 本限定保証は、Nokia により製造、供給又は承認されていない製品、付属品、ソフトウェア及び／又はサービスと共に本製品を使用し又はこれらに本製品を接続したことや、製品の本来の使用目的以外の目的のために本製品を使用したことに起因する不具合（もしくは不具合の主張）には適用されません。お客様又は第三者が、サービス、他人のアカウント、コンピュータ・システム又はネットワークに不正にアクセスした場合、かかる不正アクセスに由来するウィルスのために不具合が生じることもあります。このような不正アクセスは、ハッキング、パスワード探索、又はその他様々な方法により行われることが考えられます。
4. 本限定保証は、電池をショートさせたり、電池カバー若しくは容器のシールが破損され、電池が不正に変更されたことが明らかであったり、又は電池が指定された以外の機器で使用されたことに起因する不具合には適用されません。
5. 承認されたサービスセンター以外により本製品が分解されたり、変更され若しくは修理された場合や、承認されていない予備部品を使用して本製品が修理された場合、又は、本製品のシリアル番号、携帯電話付属品の日付コード又は IMEI 番号がいかなる方法によっても削除され、消去され、汚損され、変更され、若しくは判読不能な場合、本限定保証は適用されません。これらに該当するかどうかは Nokia がその裁量により判断します。
6. 本製品が蒸気、湿気、極端な温度若しくは環境条件、温度若しくは環境条件の急激な変化、腐食作用若しくは酸化作用にさらされ、本製品に飲食物をこぼし、又は本製品に化学品の影響が及んだ場合、本限定保証は適用されません。

その他の重要なお知らせ

SIM カード並びに本製品が動作するセルラーその他のネットワーク又はシステムは、独立した第三者である通信事業者により提供されています。従って、Nokia は、セルラーその他のネットワーク若しくはシステムの動作、利用可能性、受信可能地域、サービス、若しくは範囲について、本保証に基づく責任を負いません。本製品を修理したり交換する前に、通信事業者は、個別のネットワーク又は通信事業者でしか製品を使用できないようにするために加えられた SIM ロック又はその他のロックを解除する必要がある場合があります。従って、Nokia は、通信事業者が SIM ロックその他のロックの解除を遅延したこと又は解除できなかったことにより生じた保証修理の遅延、又はこれにより Nokia が保証修理を完成できなかったことについて責任を負いません。

本製品の修理又は交換の際に、本製品に保存されたコンテンツやデータが失われる可能性がありますので、お客様が保存された重要なコンテンツやデータに関しましては、忘れずに全てバックアップ・コピーや書面による記録を作成してください。Nokia は、下記の「Nokia の責任の制限」という表題の節との整合性を保つ形で、適用ある法律により認められる範囲で、本製品の修理又は交換の際に生じたコンテンツ又はデータの喪失、破損又は変造により生じたいかなる種類の損害又は損失についても、明示的又は黙示的であるとを問わず、いかなる場合も責任を負わないものとします。

Nokia が交換した本製品の全ての部品又はその他の機器は、Nokia の所有物となります。返却された本製品が本限定保証の条項の適用範囲外であることが判明した場合、Nokia 及びその認定サービス会社は、取扱手数料を請求する権利を留保します。本製品を修理又は交換する場合、Nokia は新品あるいは新品と同等、又は再生修理された製品若しくは部品を使用することができます。

お客様の本製品には、ソフトウェアを含め、国特有の要素が含まれる場合があります。本製品が当初の仕向国から別の国へ再輸出された場合、本製品は、本限定保証の下では不具合とみなされていない国特有の要素を含む場合があります。

Nokia の責任の制限

本限定保証は、お客様が Nokia に対して要求できる唯一且つ排他的な救済方法であり、お客様所有の本製品の不具合に関する Nokia の唯一且つ排他的な責任です。但し、本限定保証は、i) 適用される国内強行法規に基づくお客様の法律上の権利、又は ii) 本製品の売主に対するお客様のいかなる権利をも除外又は制限するものではありません。

本限定保証は、口頭、書面、（強行法規ではない）制定法、契約、不法行為又はその他によるとに拘らず、Nokia の全ての保証及び責任に取って代わります。これには、適用法により認められる場合、満足のいく品質又は目的適合性に関する黙示的な保証その他の条件も含みます。適用法により認められる限りにおいて、Nokia は、データの喪失、破損若しくは変造に関する、逸失利益、本製品の使用若しくは機能性の喪失、取引上の損失、契約の損失、収入の損失若しくは期待された節約の損失、経費若しくは費用の増加、又は、間接的、結果的、特別な損失若しくは損害に関する責任を負いません。適用法により認められる限りにおいて、Nokia の責任は、本製品の購入価格を上限とします。これらの制限は、Nokia の過失が立証され、その過失の結果生じたものである限り、死亡又は人身傷害には適用されないものとします。

法律上の義務

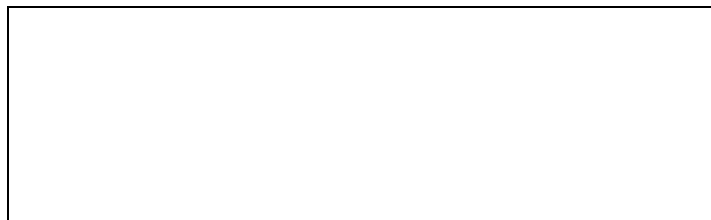
本限定保証は、本限定保証に対する、除外、制限若しくは変更できない、又は限られた場合以外、除外、制限若しくは変更できない保証又は条件を包含する法律上の規定に従って解釈されなければなりません。かかる法律上の規定が適用される場合、Nokia に許されている範囲で、かかる規定に基づく Nokia の責任は、その選択により、商品の場合は、商品の交換若しくは同等の商品の提供、商品の修理、商品を交換する若しくは同等の商品を取得する費用の支払、又は商品を修理するための費用の支払、ならびに、サービスの場合は、再度サービスを提供すること又は再度サービスの提供を受けるための費用の支払に制限されます。

注：お客様の本製品は、精巧な電子機器です。Nokia は、本製品と共に提供された、本製品のために若しくは本製品と一緒に提供される取扱説明書及び指示をよくご理解いただくよう強く推奨いたします。又、本製品は高精度ディスプレイ、カメラ・レンズ及びその他の部品を含む場合があり、十分ご注意の上取扱をしない場合、引っかき傷がついたり、又はその他の方法で損傷したりする可能性がありますのでご注意下さい。

保証に関する情報、製品特性及び仕様は全て予告なく変更される場合があります。

フィンランド

FIN-02150 エスポー

ケイララーデンティー 2-4

Nokia Corporation

購入情報

購入日：

下のスペースにシリアルステッカー（梱包箱外側に貼付）を貼って、安全な場所に保存してください。

販売店署名およびスタンプ

お問い合わせ先：ハローノキア　0570-0-66542

索引

C

E

H

I

M

N

P

S

U

W

X

あ

か

な

は

ま

や

ら

わ